

手で考へ、  
心でつくる。

# KANAZAWA COLLEGE OF ART 2025

令和7年度  
一  
学  
校  
案  
内

2025

金沢  
美術工芸  
大学

公立大学法人 金沢美術工芸大学

〒920-8656 石川県金沢市小立野2丁目40番1号  
TEL 076-262-3531 FAX 076-262-6594

2-40-1 Kodatsuno Kanazawa Ishikawa 920-8656 Japan  
TEL +81-76-262-3531 FAX +81-76-262-6594  
<https://www.kanazawa-bidai.ac.jp>



# 大学憲章

金沢美術工芸大学は、1946年、戦後の混乱と虚脱のなか、学問を好み、伝統を愛し、美の創造を通じて人類の平和に貢献することを希求する金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して創立された。

以来、本学は豊かな自然環境と歴史的遺産のなかで、美術・工芸・デザインの分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担ってきた。

素材を知り、技を磨き、現代に生きる表現に高めるべく「ものづくりの精神」を尊び、幅広い人間性に裏付けられた理論と技術の彫琢をとおして、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成し、世界における創造の機会の拡大と多様化に資するために、本学は知と創造の拠点となることを目指す。

## 沿革

1946 本多町3番丁（現出羽町）に金沢美術工芸専門学校（本科3年、予科1年制、美術科45人、陶磁科30人、漆工科30人、金工科15人、計120人）を設立	1997 大学院博士後期課程を設置
1950 金沢美術工芸短期大学（3年制、美術科45人、工芸科75人、計120人）を設立	1998 国際的芸術家滞在制度を発足（～2006） 芸術学専攻、デザイン科3専攻が推薦入学を実施
1954 産業美術相談所を設置	2000 大学院修士課程再編により絵画・彫刻・芸術学・工芸・デザイン専攻の5専攻が発足 図書館棟増改築工事が完成
1955 金沢美術工芸大学（4年制、美術学科〔絵画専攻・彫刻専攻〕40人、産業美術学科〔商業美術・工業意匠〕60人、計100人）を設立	2001 運営諮問会議を設置（～2010）
1965 美術学科定員を1学年40人から55人に増員、商業美術、工業意匠を商業デザイン専攻、工業デザイン専攻に変更 産業美術学科に工芸・織維デザイン専攻（15人）を設置	2005 大学院修士課程（デザイン専攻）にファッションデザインコースを設置（～2020） 美術工芸研究所に産学連携センターを設置
1966 教職課程（正規・聴講）を設置 図書館及び実験研究棟が完成	2006 美術工芸研究所を再編し、教育研究センター、地域連携センター、産学連携センター、国際交流センターの4センターが発足
1970 伝統工芸聽講生制度を設置（～2011）	2007 美術工芸研究所を造形芸術総合研究所に改称 芸術学専攻定員を1学年10人から15人に増員
1971 博物館学課程を設置	2008 財團法人大学基準協会の大学基準適合認定
1972 美術工芸研究所を設置 小立野5丁目11番1号に新校舎が完成、移転	2010 アートギャラリー開設（～2014） 公立大学法人金沢美術工芸大学に移行 造形芸術総合研究所を美術工芸研究所に改称
1973 研究生制度（学部）を設置（～2017） 市民講座を開設（～2006）	2011 間屋まちスタジオを開設 アートベース石引を開設
1974 工芸・織維デザインを工芸デザイン専攻に変更	2014 柳宗理記念デザイン研究所を開設
1977 市民工房を開設（～2004）	2016 社会連携組織を再編し、社会連携センターに地域連携部門、産学連携部門、知財管理部門を設置 アジア美術戦略会議、キャリア支援室が発足
1979 大学院修士課程（絵画・彫刻専攻、産業デザイン専攻）を設置	2017 美術工芸研究所ギャラリーを開設
1980 大学院棟が完成 夜間教養講座を開設（～1991）	2018 大学院美術工芸研究科に研究生制度を設置
1985 石彫棟を新築	2023 入学定員の一部変更とデザイン科の改編により、美術科（日本画専攻・油画専攻・彫刻専攻・芸術学専攻）65人、デザイン科（ホリスティックデザイン専攻・インダストリアルデザイン専攻）60人、工芸科30人の教育課程に移行 大学院修士課程（絵画専攻）に映像コースを設置、絵画専攻定員を1学年10人から14人に増員、工芸専攻定員を1学年9人から13人に増員、デザイン専攻定員を1学年10人から6人に減員 小立野2丁目40番1号に新校舎が完成、移転（敷地面積47,212.87m <sup>2</sup> 、建物面積37,357.65m <sup>2</sup> ）
1986 美術学科に芸術学専攻（10人）を設置 美術工芸研究所棟、美大ホールが完成	2024 共通造形センターを開設
1990 大学院修士課程（芸術学専攻）を設置	
1991 大学院（修士課程）工芸デザイン専攻定員を1学年15人から20人に増員	
1992 工芸実習棟が完成	
1993 共通造形センターが発足（～2010）	
1996 学科再編により美術科（日本画専攻・油画専攻・彫刻専攻・芸術学専攻）65人、デザイン科（視覚デザイン専攻・製品デザイン専攻・環境デザイン専攻）60人、工芸科20人が発足	

## 活動指針

### 創作の意欲と能力を育てる教育の推進

#### Creative Potential

地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエーターの育成を目指す。

### 質の高い研究とオリジナリティの追求

#### Professional Individuality

深く芸術の神髄を探求し、諸分野における卓越した知識と技術の継承によって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化の発信母体となる。

### 地域と世界に貢献する芸術活動の展開

#### Public Contribution

市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核を担い、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する。

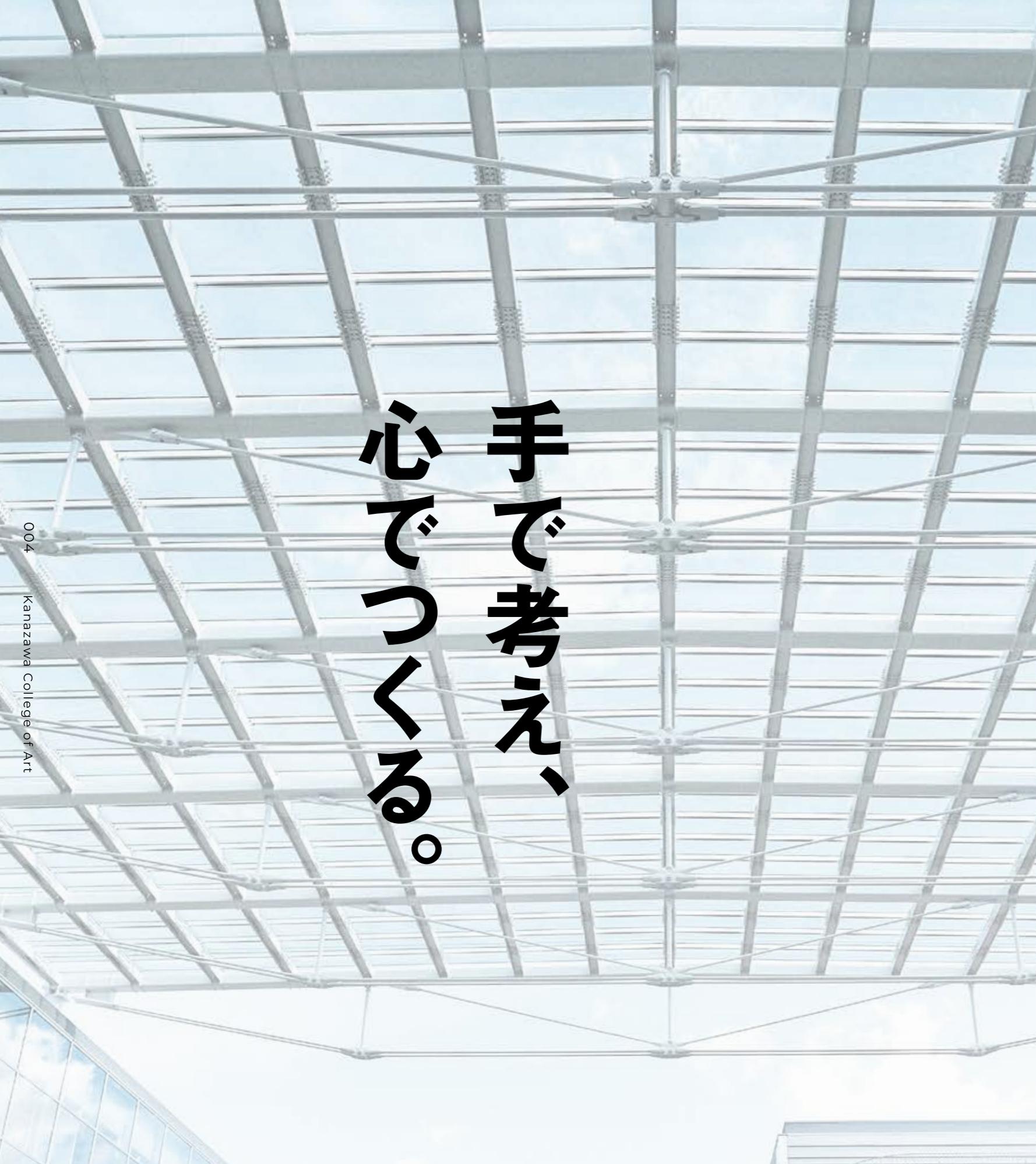
### 自立した大学の運営と公共性を重んじる組織の発展

#### Institution Independence

社会の変化に迅速かつ的確に対応できる教育体制と事務組織を構築し、自己決定、自己責任に基づく自主自立の大学運営を目指す。



金沢美術工芸大学  
KANAZAWA COLLEGE OF ART



心で考え、  
手でつくる。

004 Kanazawa College of Art

学問を好み、伝統を愛してその歴史を紡いできたまち、金沢。

工芸が今も生活のなかに息づくこの地は、ものづくりのまちでもあります。

金沢美術工芸大学は、戦後の困難な時代のなか、  
人のつくる力を信じる金沢の市民が、その心でつくった大学です。  
この大学には、「手で考え、心でつくる。」ということばがあります。  
ここで教鞭をとったある教員が残したことばは、  
ものをつくることが  
「つくりながら、試み、考える」ことであること、  
「心をこめて」行うことであることを教えてくれます。  
この大学で、たくさんの先輩たちが  
「つくりながら、試み、考える」ことを繰り返し、  
「心をこめて」作品をつくりあげ、世界へ飛び立っていきました。

「手で考え、心でつくる。」

今日も金沢美術工芸大学では、このことばのもとで、  
学生たちが学び、鍛錬を重ねています。

ものをつくること、そして  
ものをつくることについて真剣に考えること。  
それを志すあなたの豊かな力になる時間が、ここにある。  
私たちは、そう信じています。

005 Kanazawa College of Art

## ご挨拶

006

Message



金沢美術工芸大学 学長 山村 慎哉  
President Yamamura Shinya

これからまたは今学ぼうとする皆さんに間うことではないかもしれません、大学とは本当に学ぶべき場なのでしょうか？

大学で学ぶ大きな目的の一つは専門知識の獲得であることに間違いはありません。この専門知識は将来必要となるスキルや自己成長、キャリアの発展につながり、将来の選択肢を広げるものです。しかし、現代では、インターネットやバーチャル世界から容易にアクセスできる情報が増え、大学の教育と同等の専門知識が得られるようになりました。したがって、大学に通わなくても多くのことを誰もが身につけることが可能になりました。コロナの代償によってオンライン授業が普及したこと、「大学で学べることは本やネットでも学べる。わざわざ大学に行かなくてもいい」という考えが広まりました。しかし、逆に大学でしかできない、あるいは大学生だからできることを見つければ、学生生活は今後得ることのできない大変に満たされるものになると私は確信します。

何かを見つけたり実感を得るために変化、つまり行動が必要です。調べたことやこれまでの経験で納得するのではなく、まずは動いてみる。五感のすべてを使ってやってみる。大学生は基本的に自由であり、自分のために膨大な時間が与えられています。にもかかわらず、多くの学生が卒業間近に思うのはその時間の短さとやり忘れ感です。学生時代の貧乏旅行や初めての体験がとても思い出に残るという理由は、楽しかったこと以上に苦労したことや満たされていないものがあったからです。今いる快適なゾーンから自らが離れなければ、経験を積む場にも新たな価値にも出会えません。思考・視覚のみの世界から体感・五感の世界に戻ってきてほしいと思います。家を出て、大学に行き、街に出向き、友達や先輩、先生方と交流する。ぜひ、実在の人やものと出会って心と身体を動かすことを試してみてください。そしてその経験をもとに制作や研究に取り組み、美大生だからこそ得られる大切なものを見つけてほしいと思います。

金沢そして私たちの大学は環境・人・ものを通してリアルな体感を提供できる無二の学びの場であると確信しています。

## 目次

大学憲章・沿革	002
活動指針	003
学長挨拶	006
新キャンパスについて	008
活躍する卒業生	012
日本画	018
油画	022
彫刻	026
芸術学	030
ホリスティックデザイン	034
インダストリアルデザイン	038
工芸	042
一般教育等・基礎科目	046
修士課程	050
博士後期課程	054
美術工芸研究所	058
教育研究センター	060
社会共創センター	061
国際交流センター	062
附属図書館	063
学生生活	064
大学の組織・学生数	065
入学試験結果・学費	066
教員一覧	068
アクセス	070

007 Contents

# KANABI NEW CAMPUS!

新しいキャンパスに描く、新しい金美。



CONCEPT

開かれた美の探求と創造のコミュニティ

①

すべての学生が専門分野を越えて創作する「共通工房」をリング状に配置するとともに、展示や合評を行うスペースである「アートコモンズ」を随所に分散して配置することにより、様々な領域の垣根を越えて交流するキャンパス

②

大学の活動を広く発信する場となる「アートプロムナード」と、創作に集中できる囲われた空間「創作の庭」により、地域や世界に開きつつ、学生が創造と向き合えるキャンパス



創作の庭

共通工房を開われ、学生が集中し自由に創作できるコミュニティ空間です。



アートプロムナード

大学の活動を広く発信する場となるキャンパスのメインストリートです。



共通工房(絵画エリア)

フレスコ画やモザイク画、版画などの制作をはじめ、支持体研究を目的とした制作など、様々な特性に応じた専門性の高い作業を行うことができます。



共通工房(工芸エリア)

鋳金、彫鍛金、陶磁、染織、漆木工の素材ごとに5つの工房が設置され、素材の特性に応じた専門性の高い作業を行なうことができます。

# KANABI NEW CAMPUS!

MAP



ピオトープ

代々の美大生に親しまれてきた亀や鯉を題材に制作活動も可能な憩いの場です。



遊歩道／屋外モニュメント

辰巳用水に沿って緑や水を感じながら気軽に散策できる歩行者空間です。遊歩道脇には卒業賀上作品を屋外モニュメントとして配置しています。



1号館

学長室 アートコモンズ ラウンジ  
事務局 会議室  
保健室 一般教育等  
講師控室 芸術学  
守衛室 技術専門員室  
美術工芸研究所



メインエントランス

おなじみの「ニケ像」が迎えるメインエントランスは明るく開放感にあふれた空間となっています。



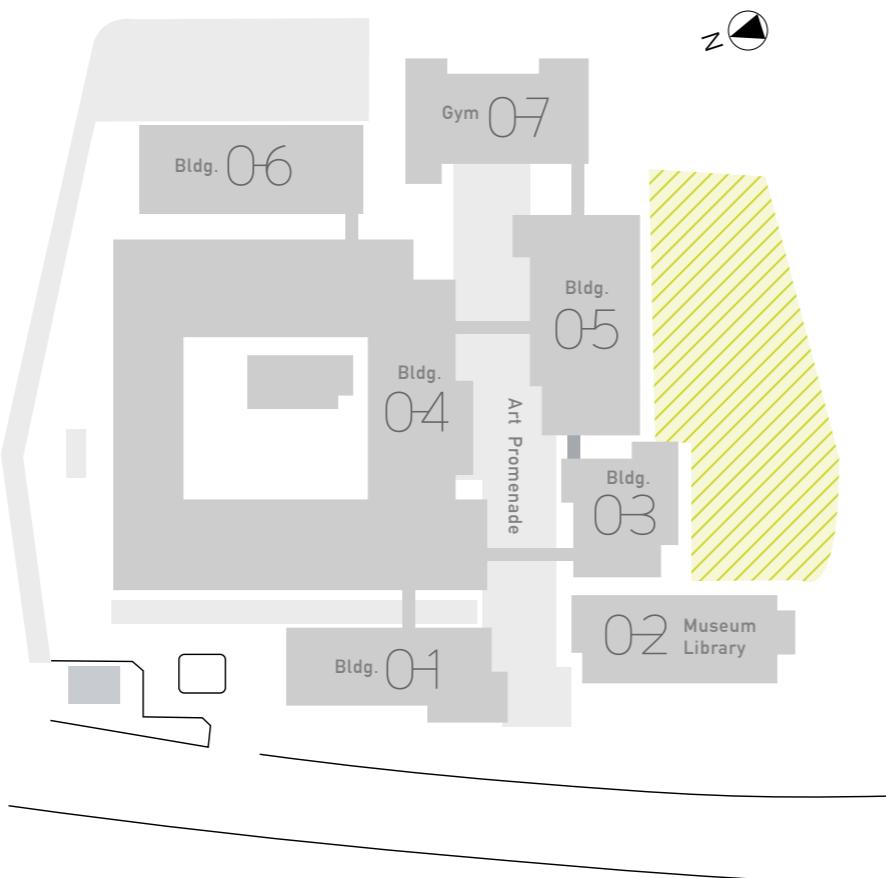
美術館  
図書館

図書館 レクチャーホール  
アートギャラリー アートコモンズ ホワイエ  
平成の百工比照コレクション



美術館・図書館

美術工芸研究所が取り組む「平成の百工比照コレクション」を実際に手に取って見ることができるほか、約12万冊の美術関連書籍を収蔵し、学生や教職員の教育や研究、学習ニーズに応えます。



MAP



講義室

アートプロムナードに面した出入りしやすい場所にある講義室は、授業のほかに外部講師による講演会などにも利用されます。



学生ラウンジ

地元の食品会社が様々なジャンルのメニューを日替わりで販売しており、一般の方でもご自由に利用いただけます。

3号館

学生ラウンジ  
講義室  
アートコモンズ D

03



共通工房(彫刻・デザインエリア)

石材、金属、木材、プラスチック、石膏などの素材の加工や造形に必要な機材や道具が備わっております。様々な素材を用いた立体物の制作をすることができます。



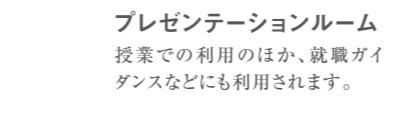
アートコモンズ

キャンパス内の展示空間です。授業の展示や合評が行われ、一般市民の方もご入場いただけます。

4号館

共通工房  
日本画  
油画  
彫刻  
芸術学  
ホリスティックデザイン  
インダストリアルデザイン  
工芸  
アートコモンズ A・B・C

04



プレゼンテーションルーム

授業での利用のほか、就職ガイダンスなどにも利用されます。



5号館

ホリスティックデザイン  
インダストリアルデザイン  
アートコモンズ E

05



共通工房(メディアエリア)

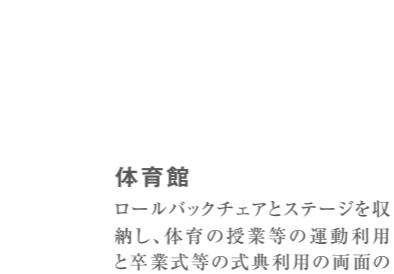
デジタルコンテンツ制作をはじめとする様々な特性に応じた専門性の高い作業を行うことができます。



6号館

共通工房  
油画  
アートコモンズ F

06



体育館

ロールバックチェアとステージを收纳し、体育の授業等の運動利用と卒業式等の式典利用の両面の機能を備えています。



7号館

アリーナ  
アートコモンズ ホールホワイエ

07

# 活躍する卒業生



岩田 勝平（大学院日本画 2002年修了）  
「雪月花時最憶君・花泥棒」第6回東山魁夷記念 日経日本画大賞展 大賞



三輪 瑛士（大学院油画 2021年博士課程満期退学）  
[No.23122]

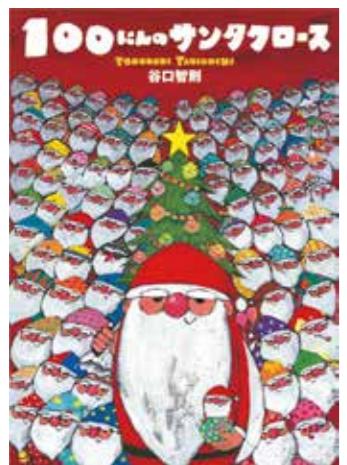
金沢の自然や金美特有の文化の中、  
夢中で制作に打ち込めます！



山内 祥太（彫刻 2014年卒業）  
「太陽がどうしても近くにある感じがされる」(2021年)



中田 日菜子（大学院日本画 2023年博士後期課程単位取得満期退学）  
「蛇を踏む」2023年博士後期課程満期修了賄上げ



谷口 智則（日本画 2003年卒業）  
「100人のサンタクロース」文溪堂  
2013年発売



今村 文（大学院油画 2008年修了）  
「花ひとつ(ピンクのすずらん)」



北川 由希恵（大学院日本画 2014年修了）  
「空にけむる」第79回石川現代美術展美術文化準大賞



杉山 有希子（大学院彫刻 2011年修了）  
「CRASH CA 02」(2017年)



キヤマ ミズキ（油画 2015年卒業）  
NHK BS「そして、水色の家は残った～"世田谷イチ"古い洋館の135年物語～」  
番組内アニメーション制作



古市 牧子（油画 2009年卒業）  
「Hairy sky, warm rain」2023年  
壁画(水彩)、水彩画、シャガールのリトグラフ「Le Prophète Elie, 1970」を構成  
Copyright : Massabo Patrick



山崎 菜未（芸術学 2009年卒業）  
ボーラ美術館学芸員



多々見 草太（大学院彫刻 2023年修了）  
「puma punk」(2022年)



丹羽 啓（大学院彫刻 2019年修了）  
「生の発掘」(2022年)



立浪 佐和子（大学院芸術学 2005年修了）  
横須賀美術館学芸員



若山 满大（芸術学 2013年卒業）  
東京ステーションギャラリー学芸員



尺戸 智佳子（大学院芸術学 2005年修了）  
黒都市美術館学芸員



西出 衣織（大学院デザイン専攻 環境デザインコース 2012年修了）  
TBS「ラヴィット！」セットデザイン



谷 清鳳（環境デザイン 2017年卒業）  
乃村工藝社 本社改装プロジェクト クリエイティブ執務フロア

大きく未来に開かれた  
素敵な時間をめいっぱい  
楽しんでください！



Hurray! (ぱぶりか、おはじき、まごつき)  
(視覚デザイン 2014、2016年卒業)  
映画『数分間のエールを』2024年初夏全国公開

数分間エール



下浜 臨太郎（視覚デザイン 2006年卒業）  
INDUSTRIAL JP × 富士フイルム足柄工場 2019/10/29

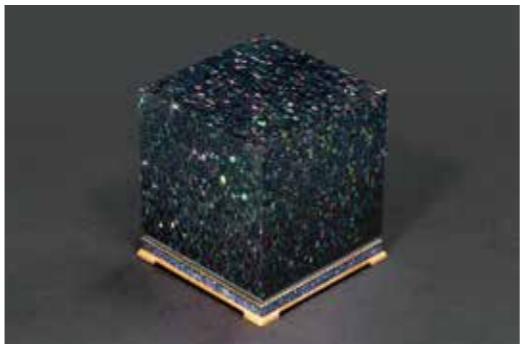
作品をつくれば、  
自分と社会がどんどん見えてくる。  
楽しいよ！



別所 潮（インダストリアルデザイン 2015年卒業）  
LAMDASH PALM IN ES-PV series パナソニック（株）  
GOOD DESIGN AWARD 2023 金賞受賞



鈴木 優（インダストリアルデザイン 2015年卒業）  
SORI/MUKURI(TATAMI ReFAB PROJECT)  
HONOKA / ヤマハ(株)



池田 晃将（大学院工芸 2016年修了）  
「電光十進玉箱」電光装飾-Cyber Effect-池田晃将 漆芸展(日本橋高島屋)



愛場 和樹（インダストリアルデザイン 1994年卒業）  
SUBARU BRZ エクステリアデザイン （株）SUBARU



岩村 達（大学院工芸 2013年修了）  
[Neo Jomon\_ Still Dreaming Girl]  
2022 個展 [Always Lonely] New York City、ニューヨーク州、アメリカ

「ここまで工房が充実した大学はおそらくないにもないです。自分の手で創りデザインを学んだ経験は社会人になつても生き続けています。



石津 雄登（インダストリアルデザイン 2013年卒業）  
AI\_DRONE ソニー(株)



井上 藍（大学院工芸 2018年修了）  
「はじまりの木」2015年 金沢美術工芸大学 卒業制作 作品買い上げ  
2021年 第77回金沢市工芸展 金沢市工芸協会会長奨励賞

やりたいことを、自由に目一杯、  
させていただいた学生生活でした。



久米 圭子（大学院工芸 2011年修了）  
「wonders080」第8回清州国際工芸公募展 特選

## 美术工芸学部

美术科

日本画専攻  
油画専攻  
彫刻専攻  
芸術学専攻

デザイン科

ホリスティックデザイン専攻  
インダストリアルデザイン専攻

工芸科





# 日本画

Japanese Painting

018

Japanese Painting

## 1年次

日本画で使う岩絵の具や膠など独特な画材は扱いに高度な技術を必要とします。1年次は基礎描写や鳥獣戯画の模写を通して日本画のものの捉え方や見方を学び、日本画の伝統的な画材を体得していきます。

**基礎描写** 古典絵画模写  
**精密描写** その他実習



1年次 講評会風景



基礎描写 スルメとネギ



鯉基礎描写的風景



基礎描写 鯉

## 2年次

2年次は写生、下図、大下図、本紙制作という日本画の基本的な制作プロセスを学んでいきます。その過程で和紙の裏打ちや水張りなどの基本的な技術を修得します。また、伴大納言絵巻の模写を通して、古典のものの見方から日本画独特の造形や色彩を学びます。

**基礎表現技術** 課題制作  
**古典基礎技術** その他実習  
**伝統的基礎技術**



写生指導風景



2年次 課題講評会風景



絹本課題 花卉



着彩模写 伴大納言絵巻

## 3年次・4年次

3年次からは150号という大きな作品に取り組みます。自分の身体より大きな作品制作に懸命に取り組むことで、より深く表現と向き合っていきます。3年後期～4年前期は自身の制作を独自に研究する期間とし、伝統に基づいたもののみならず、現代に生きる等身大の感覚によって対象を捉えていきます。4年後期には卒業制作に取り組み、学生ごとのものの見方と技術が身につき、各々の日本画が生まれ出されます。

**自由課題制作** 発表制作  
**その他実習** 卒業制作



和紙を染めるガイダンスの様子



3年次 150号制作の様子



学内展示風景



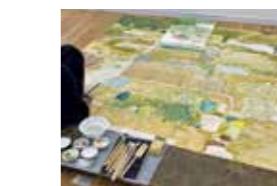
3年次 講評会風景



4年次 巡回指導の様子



4年次 卒業制作プレゼンの様子



卒業制作制作風景



4年次 卒業制作最終講評会風景

## 少人数制による細かな指導

1学年15人に対して5人の専任教員が1年次から指導を行います。3年次からは10名以上の非常勤講師も加わり、学生それぞれの独自の表現を追求していきます。また、毎年5月には全学年で信州に郊外写生研修を行います。講評会では先輩方の写生を見ながら表現について深く学び、学年を超えて交流していきます。



郊外写生研修 写生の様子



講評会の様子

## 卒業後の進路・活躍

[就職] 日本画家(日展・院展・創画会等各公募系列他)／大学教員(京都市立芸術大学、佐賀大学、名古屋芸術大学、東北芸術工科大学、京都精華大学、宝塚大学、大阪成蹊大学、崇城大学、秋田大学、金沢学院大学、金城大学短期大学部他)／全国小中高教員／学芸員(石川県立美術館、福井県立美術館、名古屋市美術館、MOA美術館、石川県立歴史博物館)／文化財保護修復関係機関各種／公立工芸研究機関(九谷焼技術、輪島漆芸他)／造形作家／工芸作家(陶芸、染色、漆芸)／漫画家／イラストレーター／各種デザイナー／映像関係／織維関係／印刷関係／報道関係／会社経営／流通、販売系

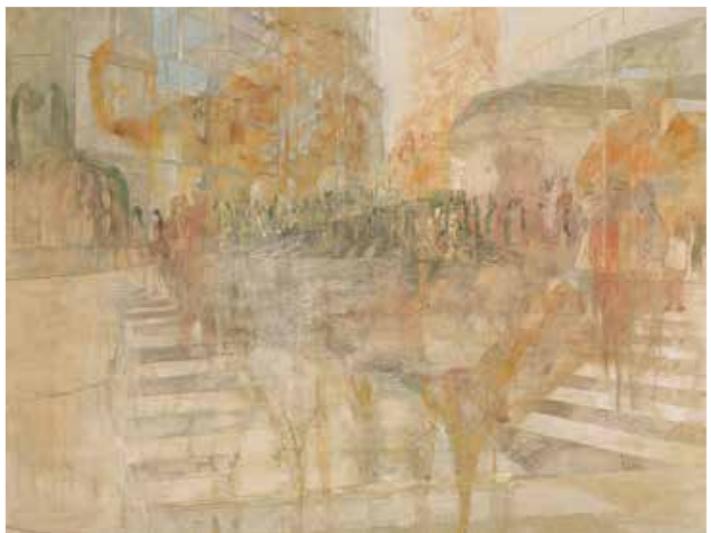
[受賞・発表] 日展(大臣賞、会員賞、特選)／日春展(外務大臣賞、山口蓬春記念賞、日春賞他)／全関西美術展(全関展賞他)／臥龍桜日本画大賞展(大賞他)／青垣日本画大賞展(大賞他)／現代美術展(美術文化大賞他)／文化庁在外派遣研修員／新風舎えほんコンテスト(優秀賞)／Seed山種美術館日本画アワード特別賞／院展(奨励賞)／春の院展(奨励賞)／東山魁夷記念日経日本画大賞展(大賞他)／上野の森美術館大賞展(特別優秀賞)／三溪展(優秀賞)／京展(京都市長賞他)／菅原彦大賞展(大賞、準大賞)／郷さくら大賞展(大賞、準大賞)

019

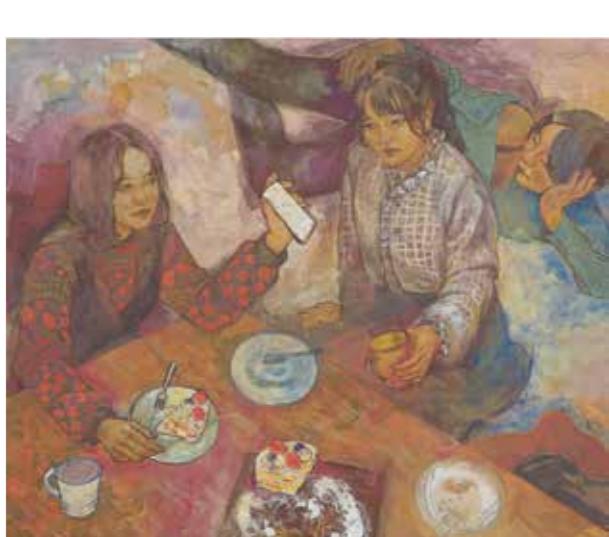
Japanese Painting



氏次里菜 「深層の庭」 H130×W194cm



佐藤あい 「おもかげを求めて」 H146×W194cm



久松瑞果 「東の間の談笑」 H162×W194cm



五位堂蘭 「琵琶ノ沖島千円煙団」 H184×W184cm



崔由依子 「帰り道」 H162×W194cm



松崎瑞歩 「壁[通り]」 H130.3×W194cm



大塚光子 「今日のご飯は—アイス料理」 H162×W194×D33.5cm



# 油画

Oil Painting



022

Oil Painting

## 1年次

1年次はデッサン力を養い、  
油彩画の基本技術を習得するとともに、  
他分野の実習を通じて広く美術を学びます。

石膏デッサン	グリザイユ
静物油彩	アクリル画
パネル地塗り・テンペラ画	人物着衣油彩



石膏デッサン



静物油彩



人物着衣油彩



現代絵画表現

## 2年次

2年次は前学期では西洋絵画の知識・技術についての理解を進展させ、後学期では授業単元のテーマに沿った課題制作を通して表現の可能性を探ります。

フレスコ画	インスタレーション
キャンバス制作	アニメーション
カマイユ	版画



フレスコ画



カマイユ



インスタレーション



アニメーション

## 3年次・4年次

3年次は制作のテーマや技術的な課題を明らかにするための表現技法研究と進級制作課題によって、表現の具体化について学びます。

**表現技法研究**  
絵画、映像、立体・インスタレーション等の幅広い手段による表現を試行し、作品制作に繋げます。  
**進級制作・展示**  
進級制作では、個々の表現を具体化させ、作品を完成させます。4年次の卒業制作を視野におき学内ギャラリーにて展示を行います。



表現技法研究

4年次は学内外の専門的な視点による技術指導や作品講評を得ながら、卒業制作の完成に向けて高い表現力を身につけます。

**前期制作・展示**  
前期は、卒業制作につながる実質的な制作に移る中で、制作上の技術的な課題を解決し、学内展示をとおして個々の制作に最適な作品サイズや制作期間、展示環境等について検討します。  
**卒業制作**  
後期は、集大成として卒業制作を行い金沢21世紀美術館に展示します。



前期制作・展示

### 絵画表現コース（油彩、アクリル）

写実的な描写から抽象的な表現の探求まで、制作のテーマは多岐に渡ります。

### 映像表現コース（アニメーション、ビデオ）

紙とペンで描いた動画や、人形、CG、実写等を駆使して制作に取り組みます。

### ミクストメディア・空間表現コース

平面からインスタレーションを含む空間表現まで、様々な素材や技法を用いて取り組みます。



絵画表現コース



映像表現コース



ミクストメディア・空間表現コース

## 研修旅行

油画専攻では各年に金沢近郊の一泊二日の校外写生授業、2年次の総まとめとしてパリ研修を行っています。普段とは異なる環境で自身が学んできたことを見つめ直す時間を過ごします。



パリ研修



校外写生授業

## 卒業後の進路・活躍

[就職] 画家、版画家、美術作家、絵本作家、漫画家、美術予備校講師、中学・高校教員、大学教員 (茨城大学、群馬大学、福井大学、宮崎大学、広島市立大学、日本大学芸術学部、金沢学院大学、金城大学短期大学部)、株アーケンシステムワークス、株イマジカデジタルスケープ、株SNK、株エボック、株カイカイキキ、株カブコン、株京都アニメーション、株KYORAKU、株グラニゼーラ、株ケイ・ウ、株酒井化学工業、株Cygames、株佐藤塗装、株ジェー・スタッフ、株J-TECラボ、株四季 (劇団四季)、株スタジオコロリ、株田井屋、株チップチューン、株TBSアクト、株トーガシ、株ニチ学館、株任天堂、株ハウハウス、株フェニシス、株フタバ、株北陸工、株本田技術研究所、株モリスソフト、株ufotable、株ヨシダ宣伝、株ヨシダ印刷 [進学] 金沢美術工芸大学大学院修士課程・博士後期課程、東京藝術大学大学院

[受賞・発表] 第97回国展 (新人賞受賞、入選)、第41回上野の森美術館大賞展 (大賞受賞)、第7回青木繁記念大賞ピエンナーレ (奨励賞受賞)、令和3年度みえ文化芸術祭第71回みえ県展 (最優秀賞)、第23回雪梁舎フレンツェ賞展 (入選)、第56回関西国展 (新人賞・賞候補)、第32回美浜美術展 (入選)、ヤングアーティスト公募展「いい芽ふくら芽」in Nagoya (優秀賞)、第38回FUKUIサムホール美術展 (入選)、2021年美の起原展 (準大賞)、シェル美術賞2021 (入選)、FACE展2022 (入選)、第1回古川美術館Fアワード (スターキャット・ケーブルネットワーク賞)、第80回現代美術展 (次賞、北国賞、佳作賞、入選)、六花文庫企画公募展 (入選・入賞)

023

Oil Painting



當山絢香 「T山TV放送」  
映像 5分40秒 1920×1080px



藤又理音 「Eternal Return」  
スタイロフォーム、木材、フェルト、粘土など H300×W200×D200cm



徳永なごみ 「刻々」  
キャンバス、油彩 H162×W112cm



古桜かのこ 「tower」  
キャンバス、油彩 H227.3×W145.5×D3.3cm



八木谷仁美 「カスタム・fav」  
キャンバス、油彩 H194×W162cm



富士原芽依 「くじらと出会う帰路」  
キャンバス、油彩、メディウム H162×W227.3×D4cm



松岡琢未 「necessities」  
ジェスマナイト、スタイロフォーム、油彩 H175×W215cm



古田菜海子 「Loop girls」  
映像 1080×1920px



# 彫刻

Sculpture



026

Sculpture

## 1年次

1年次から2年次前期までは基本的な彫刻素材を通した実習により、造形表現の基礎と各種の技法を体得します。

### 彫刻（一）I・II

自然観察／木彫実習／石彫実習／塑造実習

### 基礎科目

デザイン演習／映像メディア演習／絵画演習／美術解剖学・日本美術史I・II／東洋美術史I・II／西洋美術史I



自然観察



木彫実習



石彫実習



塑造実習

## 2年次

2年次後期は、造形理論を深化させながら自己表現の可能性を探ります。

### 彫刻（二）I・II

金属彫刻実習／複合メディア実習  
選択課題：塑造（人体）／塑造（クレーワーク）／木彫／石彫／金属彫刻／複合メディア

### 基礎科目

工芸演習／絵画演習／美学／西洋美術史II／色彩論／近代美術史

### 彫刻論 I



金属彫刻実習



複合メディア実習



選択課題



選択課題

## 3年次・4年次

### 選択制による表現・素材別制作演習

3、4年次は素材や表現別に、またはそれらを横断しながら、個人のテーマ、内容を掘り下げ作品の完成を目指します。

### 彫刻（三）I・II

### 彫刻論 II

### 彫刻史特講

### 基礎科目

コンピュータグラフィックス

### 彫刻（四）I・II

卒業制作

### 塑造（人体・クレーワーク）



### 木彫



### 石彫



### 金属彫刻



### 複合メディア



## その他の活動



イトユウヤ先生によるワークショップ



宮永愛子先生による卒展講評会



金沢彫刻祭 2023 開会式



研修旅行（青森・北海道）

## 卒業後の進路・活躍

【就職】彫刻家、造形作家、小学・中学・高校・大学教員、青山学院大学、金沢星稜大学、京都教育大学、東海大学、秋田公立美術大学、大阪成蹊短期大学、明星大学、愛知県立旭丘高校美術科、金沢市民芸術村、石川県立美術館、疎山美術館、金沢21世紀美術館、金沢森林組合、四季株式会社、(株)金沢舞台、劇団俳優座舞台美術、上越クリスタル硝子株式会社、スズキ株式会社、任天堂株式会社、(株)本田技術研究所、井波彫刻・野村、(株)ウイン・ディー、(株)俄、日産自動車株式会社、(株)セガ、(株)東京スタジオ、コトブキワールド株式会社、(株)瑠璃光、(株)桑山、(株)北陸園芸、(株)道具、(有)イズム、(株)カブコン、(株)ピア21、(株)ダヴィンチ、(株)杉田石材店、横浜美術大学、北海道教育大学、京都市立銅鑄美術工芸高等学校、広島市立大学

【他大学等進学先】愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、京都市立芸術大学、多治見市陶磁器意匠研究所、多摩美術大学、筑波大学、東京藝術大学、富山ガラス造形研究所、広島市立大学  
【受賞・発表】各団体展出品、現代日本彫刻展等コンペ出品

027

Sculpture



石田愛莉 「愛しき日々のとなりで」  
着物、帯、腰巻き、衣紋掛け、畳 H160×W260×D350cm



足立雄亮 「それは流れ星（となるでしょう）」  
誓約書、墨、汗、精製食塩、映像（19分30秒）可変



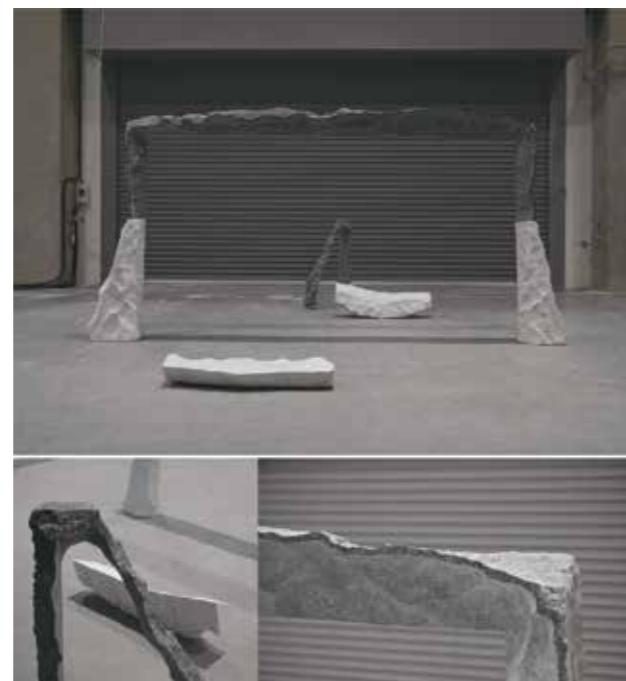
佐藤蓮太 「RENTA」  
櫸 238×143×120cm



川村拓路 「間を象る」  
トラバーチン大理石 H31×W72×D290cm



山岸眞弥 「無意識の転置」  
ステンレス、鉄 H260×W190×D130cm



林和雄 「LandscaperhythmIV - 現象」  
御影石、大理石 H170×W300（可変）×D可変cm



大和楓 「Three types of exclusion」  
ミクストメディア、ワークショップ 可変



田中鈴花 「ロコ・モーション」  
粘土、釉薬 H71×W85×D160cm



# 芸術学

The Study of Contemporary Art Practice and Visual Culture



## 030 1年次

芸術学専攻で行う調査・研究、制作等の概要を理解し、視覚文化研究・現代美術研究に必要なスタディスキルの基礎力を身につけます。

芸術学演習（一）  
ユネスコ創造都市（クラフト&フォークアート分野）に認定されている金沢には、江戸時代以来の様々な文化が今も息づいています。金沢の文化に関するフィールドワークを行い、これをケーススタディとして芸術学概論を講義した後、視覚文化研究・現代美術研究の導入として基礎的な演習を、各教員がオムニバス形式で行います。

芸術学演習（一）  
日本美術史I・II 東洋美術史I・II 西洋美術史I  
彫刻演習 工芸演習 デザイン  
映像メディア



工房見学（毎田染画工芸）



作品制作

## 2年次

視覚文化研究・現代美術研究のスタディスキルの展開力を身につけ、専門研究を具体的にイメージしつつ、その方法を試行します。

芸術学演習（二）  
アーティスト・イン・レジデンス（研修旅行）と連動した作品制作と展示企画、美学・美術史・工芸論を中心とする視覚文化研究の文献の輪読と議論、現代美術のキュレーションにおける実地調査など、1年次の芸術学演習で修得した基礎力の展開として、視覚文化研究・現代美術研究に関する発展的な演習を、各教員がオムニバス形式で行います。

芸術学演習（二）  
西洋美術史II 工芸史I・II 美学  
近代美術史 絵画演習 美術表現演習  
工芸 版画



作品制作（小林葵「解き」）



展示企画

## 3年次

視覚文化研究・現代美術研究のスタディスキルの専門性を高めるとともに、卒業研究の方向性を定め、その目的と意義を認識します。

芸術学演習（三）  
1・2年次の芸術学演習で修得した基礎力・展開力に基づく専門研究について、各教員がゼミを開講し、美学・美術史・工芸論を中心とする視覚文化研究、現代美術における多形式での制作・理論・キュレーションの研究とその実践に関する演習を行います。卒業研究を念頭にゼミを選択し、調査・研究・制作・展示を通して研究テーマを探求します。

芸術学演習（三）  
芸術論研究 美術工芸特論  
日本絵画史特講 西洋絵画史特講 彫刻史特講  
専門語学（英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、中国語、古文）  
絵画 コンピュータグラフィックス



展示企画（学内展示スペース）

## 4年次

視覚文化研究・現代美術研究における専門研究を行い、各自のテーマに基づく論文や作品制作等を完成させ、その成果を発表します。

芸術学演習（四）  
3年次に行った専門研究を前提に研究領域やテーマを決定し、美学・美術史・工芸論を中心とする視覚文化研究、および作品の制作やキュレーションの実践を伴う現代美術研究における卒業研究（論文／制作）を行い、主指導教員の個別指導に基づく調査・研究・制作・展示、発表におけるプレゼンテーションと質疑応答を通して完成に導きます。

芸術学演習（四）  
卒業研究  
卒業制作展での展示にあわせて金沢21世紀美術館レクチャーホールで研究発表を行います（一般公開）。



研究公開（金沢21世紀美術館）

美学・美術史・工芸論を中心とする  
視覚文化研究

絵画や彫刻といった「美術」はもとより、その一部を構成しつつ周縁に位置する「工芸」や「デザイン」、さらには美術の下位に区分されてきたヴィジュアルな「大衆文化」を対象として、学術的かつ領域横断的な研究に取り組みます。

制作やキュレーションの実践を伴う  
現代美術研究

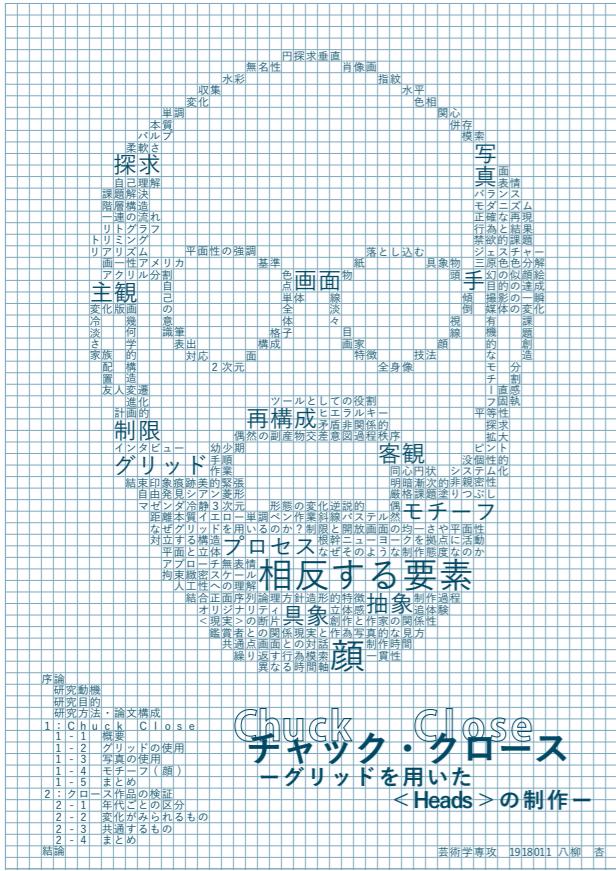
絵画、彫刻、工芸、デザイン、版画、映像メディア、CG、美術表現といった幅広い実技を学び、現代の美術市場を意識した作品制作や作家とともに展覧会を作り上げる現代美術のキュレーションなどの実践的な研究に取り組みます。

## 学外研修

研修旅行:アーティスト・イン・レジデンス（大分県別府市）  
2年次の美術表現演習と芸術学演習（二）で行う作品制作および学内での展示企画を、学外の施設における滞在制作展示として発表し、報告書を作成することにより、現代美術領域における現場力を養います。

## 卒業後の進路・活躍

【就職】北海道立近代美術館、北海道立旭川美術館、モエレ沼公園、弘前れんが倉庫美術館、東北福祉大学芹沢鉢介美術工芸館、秋田市立千秋美術館、福島県立博物館、茨城県近代美術館、東京国立博物館、東京ステーションギャラリー、草間彌生美術館、横浜美術館、横須賀美術館、ポーラ美術館、黄金崎クリスタルパーク、愛知県陶磁美術館、名古屋市美術館、古川美術館、豊田市美術館、国立工芸館、石川県立美術館、石川県輪島漆芸美術館、石川県七尾美術館、富山県美術館、富山県水墨美術館、富山市ガラス美術館、黒部市美術館、セレネ美術館、金沢市立中村記念美術館、金沢湯涌夢二館、福井県立美術館、金津創作の森美術館、敦賀市立博物館、二条城、大阪中之島美術館、伊丹市立美術館、和歌山県立近代美術館、鳥取県立美術館、福岡アジア美術館、立花家史料館、九州国立博物館、福井大学、金沢大学、公立および私立中・高等学校美術教員など  
【他大学進学先】大学院：東北大、東京大、筑波大、千葉大、神戸大、九州大、東京藝術大、京都市立芸術大、ロンドン大など



八柳杏

「チャック・クロースグリッドを用いた&lt;Heads&gt;の制作ー」



安野花菜

「和製マジョリカタイルの受容と変容ー近代日本と日本植民地期の台湾を比較としてー」



津村卯乃

「絵巻が漫画のルーツと呼ばれるに至った経緯についての考察」



並木萌々花

「現代の美術館が目指すべき在り方についての考察ー五感とともに美術鑑賞をきっかけに」

## 岡本太郎とアウトサイダー・アート

**Introduction**

**リサーチエクスプローラー**

**Chapter1**

**アウトサイダー・アートって?**

**0 | はじめに**

パウル・クレーが子どもの絵を評したことからシュラッヘルアリストが精神障害者の作品に注目したなどが多く語られる日本のアウトサイダー・アート論。しかし、アウトサイダー・アートから影響を受けたアーティストとして岡本太郎はほとんど語られませんでした。本論ではその理由を探ります。

**1 | アウトサイダー・アートの歴史**

日本における特撮の歴史的展開を「特撮」という用語の指示内容の変遷を軸として概説的に述ぶ。また、研究の実績を整えるべく事前調査として、公私美術館での展示を中心に全56件の展覧会データを収集し、「特撮を取り上げた主要な展示一覧」リストを作成、巻末に付している。

**Chapter2**

**2つはどんな関係があるの?**

**岡本太郎とアウトサイダー・アートとの共通点**

岡本太郎が語らない理由と語る意義

岡本太郎が50年前に著した『アダム・ギャラルド藝術』では原始的黒人の芸術、子供の絵、夢の世界、精神病者の絵描への言及がみられます。岡本はそれを討論であり、自己中心主義的な性質を持っていると評価しています。他にもいくつかの点でアウトサイダー・アート論との共通性を見出すことができます。

**Chapter3**

**調査から見えてきたこと**

**岡本太郎とアウトサイダー・アートの共通点**

岡本太郎が語らない理由と語る意義

岡本太郎が50年前に著した『アダム・ギャラルド藝術』では原始的黒人の芸術、子供の絵、夢の世界、精神病者の絵描への言及がみられます。岡本はそれを討論であり、自己中心主義的な性質を持っていると評価しています。他にもいくつかの点でアウトサイダー・アート論との共通性を見出すことができます。

令和5年度卒業論文 2018007 芸術学専攻4年 鶴光捺子

徳光捺子

「岡本太郎とアウトサイダー・アート～日本のアウトサイダー・アート論を再考する～」

## セル画のあり方の変遷ー日本におけるアニメ制作体制、ファンとの関係を中心としてー

**1 アニメ制作現場とセル画**

セル画がはじめに生まれる場であるアニメ制作現場の視点から、セル画の制作を行う「仕事」の業務内容と実態、セル技術の発展、アニメ制作体制の変遷についてまとめ、それぞれの効果と問題を押さええた上で、アニメブームも含めた相互関係について考えます。

**2 流通するセル画**

作品制作後のセル画は、どのように制作現場外へと流通し、その価値を高めさせていったのでしょうか。大きな変化と考えられるファン活動との関係を中心に流通形態、メディア媒体の変化、デジタル移行後の複製セル画の登場についてまとめます。

**3 現在の位置**

ファン活動などにより、セル画は産業商品として見過ごされてきた状況から次第に広い場で評価を獲得するようになっていました。セル画をめぐる今日の実践的な例を取り上げ、どのような目的と方法のもと扱われているのか、共通点や相違点を見つけて、今後の展望を行います。

2018012 村上桃衣

村上桃衣

「セル画のあり方の変遷ー日本におけるアニメ制作体制、ファンとの関係を中心としてー」

## 展覧会とアーカイブによる日本特撮の文化的価値づけに関する基礎的研究

**序章**

日本における特撮の歴史的展開を「特撮」という用語の指示内容の変遷を軸として概説的に述ぶ。また、研究の実績を整えるべく事前調査として、公私美術館での展示を中心に全56件の展覧会データを収集し、「特撮を取り上げた主要な展示一覧」リストを作成、巻末に付している。

**第一章 キュレーションによる特撮の展示例**

展示及びアーカイブに関する研究が進むゲーム領域のアーチーヴを参照し、これまで行われてきた特撮の展覧会を「キュレーション」という観点から整理している。本章では特に4つの視座に着目し、「日本ゼロ年」展、「館長庵野秀明 特撮博物館ミニチュアで見る昭和平成の技」展、「熊本城×特撮美術 天守再現プロジェクト展」、「MANGA都市 TOKYO ニッポンのマンガ・アニメ・ゲーム・特撮 2020」展をそれぞれ例に挙げながら論じた。

**第二章 アーカイブ構築へ向けた動き**

特撮の中間制作物のアーカイブ構築にかかる動きについて調査を行なった。調査にあたっては福島県須賀川市でのフィールドワーク、「庵野秀明展」「井上泰幸展」への訪問調査、認定NPO法人アニメ特撮アーカイブ機構(ATAC)事務局長の三好寛兵へのインタビュー調査等を実施した。調査の結果、現在に至るまでのアーカイブ化の動きは2012年の「特撮博物館」展の開催に端を発することが明らかになった。

**第三章 今後の研究へ向けた諸論点の整理と検討**

特撮の展示およびアーカイブ研究の上に今後見えてきうるいくつかの論点を議論の俎上に載せることを目的とし、先行研究の整理と検討を行なった。各節ではミュージアム・スタディーズからの分析、「特撮の「文化化」」の問題点の検討、中間制作物保存の根拠の再考をそれぞれ試みている。

令和5年度卒業論文 2018011 長谷川千紗

長谷川千紗

「展覧会とアーカイブによる日本特撮の文化的価値づけに関する基礎的研究」

## 和傘の普及促進に向けた考察

**はじめに**

研究背景  
研究目的

**準備**

用語説明  
和傘の产地

**本論**

リサーチエクスプローラー  
調査方法  
岐阜県  
購入品  
京都府  
購入品  
「ryoten」についての考察  
石川県

**考察**

現代の和傘  
問題点とアプローチ  
まとめ

現代では、和傘を使用する機会はほとんどない。普段使はるはいやすすい改良を重ねられた洋傘である。新調する際も、コンビニや雑貨店で気軽に買える洋傘と、専門店に行かなければ買えない和傘では選択肢として和傘に入る事すら無い。そのため、和傘の構造や日常的な使用方法、手入れの仕方なども知る機会が無い。現代にとっての和傘は生活に必要な物ではなくており、身近な和傘との縁がない限り日常生活に縁のない物になってしまった。

本論では、和傘の再興の為には何が出来るのか、真の理由を考察しつつ今後の和傘事情を追求した。

2018011 森松明日香

森松明日香

「和傘の普及促進に向けた考察」



# ホリスティックデザイン

Holistic Design

コミュニケーションから場のデザインまで、  
様々な専門領域とその関係を学ぶ。

広告、パッケージ、本、映像、ゲーム、プロダクト、ファッション、プランディング、空間、  
景観、建築。11のデザインを通してデザインの世界を広く捉え、そこから自分自身の  
得意な領域を見つけ探求するカリキュラムを組んでいます。様々なデザインのスキルや  
視点、それらの関係性を学び、変化する社会、多様性が重視される現代にふさわしい  
デザイナーの育成を目指します。



034

Holistic Design

デザインの基礎を学ぶ  
自分自身のデザイン力を耕す。

描出、色彩、素材、形態、情報、発想など  
デザインの基礎を総合的に学びます。

ホリスティックデザイン演習（一）

描出演習 色彩演習 素材演習  
形態演習 情報演習 発想演習



色彩演習「シルクスクリーン」



素材演習「ナチュラルマテリアル」



形態演習「構造と機能」



ゲーム課題

035

Holistic Design

視野を広げ、想像力を育む  
自分自身のデザインの世界を広げる。

選択式の演習が加わり、  
様々なデザイン領域の基礎を実践的に学びます。

ホリスティックデザイン演習（二）

デザインプロセス演習  
デザイン論



ファッションエディトリアル



パッケージデザイン「日本酒」

036

専門的スキルを横断的に学ぶ  
自分自身の得意分野を形成する。

選択式の演習により、異なる領域を横断的に、  
または同系統の領域を縦断的にデザインの応用を学びます。

ホリスティックデザイン演習（三）

ホリスティックデザイン特論  
デザインマーケティング



インフォグラフィックス



テストマーケ

037

課題を抽出し、社会へ発信  
自分自身のテーマを確立する。

デザイン演習のまとめとして  
卒業制作に取り組みます。

ホリスティックデザイン演習（四）



スタートデザイン



研究活動

## 卒業後の進路（現視覚デザイン専攻・現環境デザイン専攻）

【就職】 イケア・ジャパン(株)、(株)イトーキ、(株)イリヤ、王子製紙(株)、(株)オカムラ、(株)オリバー、海法主建築設計事務所、花王(株)、(株)加納デザイン事務所、キリンビバレッジ(株)、(株)クボタ、ケイミュー(株)、(株)湖池屋、(株)コーエーテクモゲームス、コクヨ(株)、(株)コトブキ、コナミ(株)、(株)Cygames、(株)サイバーエージェント、(株)サンリオ、(株)ジー・シー・スパーク、(株)GK設計、ジーク(株)、シャープ(株)、スズキ(株)、(株)snowpeak、(株)スペース、(株)セガ、積水樹脂(株)、(株)船場、ソースネクスト(株)、ソニー(株)、(株)大広、(合)DMM.com、(株)TBSテレビ、(株)タカラトミー、(株)たきコーポレーション、(株)丹青社、TOTO(株)、(株)DNPコミュニケーションデザイン、(株)テレビ朝日、デンソーアテクノ(株)、(株)電通、(株)戸田芳樹風景計画、TOPPANホールディングス(株)、トヨタ自動車(株)、(株)ドン・ワング、(株)日本デザインセンター、日本放送協会(NHK)、任天堂(株)、NEXCO西日本グループ、(株)乃村工藝社、(株)博展、(株)博報堂、(株)阪急デザインシステムズ、(株)バンダイナムコスタジオ、(株)パナソニック(株)、(株)日立製作所、(株)フジテレビジョン、本田技研工業(株)、三菱電機(株)、(株)ムラヤマ、(株)メルカリ、ヤフー(株)、(株)LIXIL、(株)リュウズ、YKKAP(株)、1-UPスタジオ(株)

## 学外活動（産学連携事業）



ビジョン グラフィックデザイン



湖池屋 ブライドボト JAPAN  
金沢の甘えび パッケージデザイン



無印良品・九州大学連携プロジェクト  
つながるモノづくり市



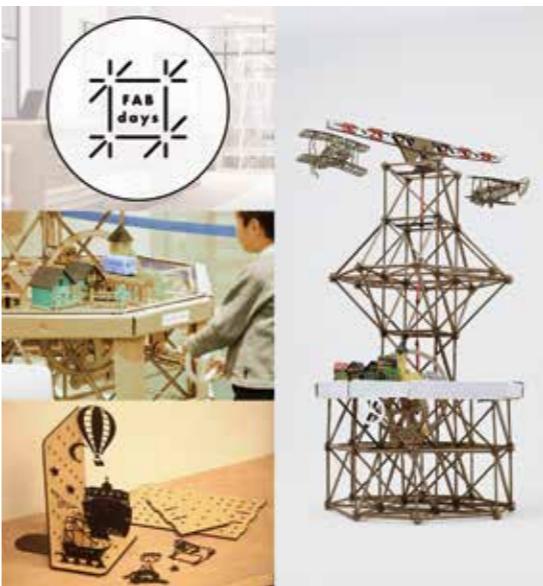
金沢村田製作所 イルミネーション



山梨蓮 「フィクションの世界に没入する体験の研究」  
インストレーション



赤松弥彦 「傘と小鳥と鳩時計 双葉ヤヒコ短編漫画集」  
コミック



金子率 「Fab Labの普及による、作る喜びを広める方法の提案」  
サービスデザイン/インテリアデザイン



巻野見也 「アップサイクルによる意識の変化」  
プロダクトデザイン



渡部ありさ 「心のなかに併せにかくまわれている感覚的な痕跡からつくる建築の考察」  
建築



伊藤愛理 「ANTIDOTE 探索型パズルプラットフォームゲーム」  
ゲーム企画



相良実和 「相良矢工房 矢工房のリプランディング」  
プランディング



細江美結 「毎日くるるProject オリジナルVtuber個人制作プロジェクト」  
キャラクター



# インダストリアルデザイン

Industrial Design



## 038 1年次

### デザインの基礎を学ぶ。

基礎造形、表現、技術を学びます。

デザイン科2専攻共通の課題もあります。工房教育として、金属、木材、プラスチック等の素材加工技術、塗装などを学びます。

### インダストリアルデザイン演習（一）

描出演習 形態演習 色彩演習 材料学演習

### アイディアデベロップメント



インダストリアルデザイン演習（一）  
基礎造形



インダストリアルデザイン演習（一）  
フォトショスケッチ



デザイン基礎（形態1）



材料学演習（複合素材）

## 039 2年次

### インダストリアルデザインの要素を学ぶ。

専門的なデザインスケッチやモデル制作の技法を学びます。

製品の機能、素材、構造、詳細から造形を考えます。

### インダストリアルデザイン演習（二）

コンピュータ演習I3D デザインプロセス演習

### インターフェースデザイン



インダストリアルデザイン演習（一）  
サービスデザイン



インダストリアルデザイン演習（二）  
機能（GUI）



インダストリアルデザイン演習（二）  
コンセプトとカタチ（ドライバー）



インダストリアルデザイン演習（二）  
素材と構造と接合法

## 3年次

### インダストリアルデザインのプロセスを通して手法を学ぶ。

製品の調査、企画、デザイン、試作まで一貫したインダストリアルデザインのプロセスを通して手法を学びます。産学連携プロジェクトや、企業インターンシップへの参加など、より社会における実践に近い形でプロのデザイナーの仕事を体験します。

### インダストリアルデザイン演習（三）

コンピュータ演習II GUI 人間工学 デザイン工学



インダストリアルデザイン演習（三）  
家電のデザイン



インダストリアルデザイン演習（三）  
モビリティのデザイン



インダストリアルデザイン演習（三）  
椅子のデザイン



インダストリアルデザイン演習（三）  
サービスや情報機器のデザイン

## 4年次

### インダストリアルデザインの応用として視野を広げ、必要なテーマを自身で発掘し解決に導く。

インクルーシブデザイン演習、応用演習のまとめとして卒業制作に取り組みます。

### 卒業制作

意匠法規

### デザインマーケティング



スタートデザイン



地域連携



インダストリアルデザイン演習（四）  
公共用品



卒業制作（金沢21世紀美術館）

## 海外研修旅行 / 社会連携事業



海外研修旅行  
(デンマーク フリッツハンセン)



国際交流  
(デンマーク 王立美術院)



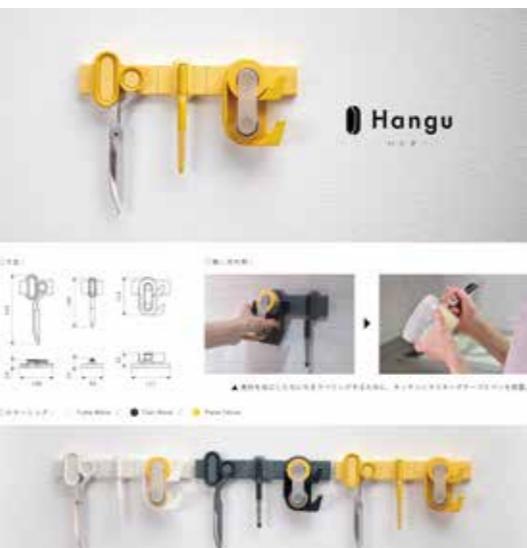
金沢マラソン完走メダルデザイン  
(金沢市)



デザイントライアル  
(石川県)

## 卒業後の進路

【就職】アイシン精機㈱、愛知㈱、アイリスオーヤマ㈱、アクセンチュア㈱、(株)アシックス、いすゞ自動車㈱、井関農機㈱、(株)イトーキ、(株)INAX、NEC㈱、(株)オカムラ、オリンパス㈱、貝印㈱、カシオ計算機㈱、(株)カネカ、河津㈱、キヤノン㈱、(株)クボタ、(株)ケイテック、コクヨ㈱、サンデン㈱、ソースネクスト㈱、(株)GK京都、(株)GKダイナミックス、(株)JVCケンウッド、シチズン時計㈱、(株)島津製作所、(株)シマノ、シャープ㈱、伸光化学㈱、スズキ㈱、(株)SUBARU、セイコーワンツール㈱、セイコーワオッчи㈱、象印マホービン㈱、ソニー㈱、ダイキン工業㈱、大建工業㈱、ダイハツ工業㈱、(株)タニタ、(株)デンソー、(株)デプロ・インターナショナル・アソシエイツ、(株)東芝、トヨタ自動車㈱、(株)豊田自動織機、ナトコ㈱、(株)ニコン、日産自動車㈱、(株)日産テクノ、任天堂㈱、パイオニア㈱、パナソニック㈱、(株)パンダイナムコスタイル、(株)日立製作所、(株)PFU、富士フイルム㈱、ブザー工業㈱、(株)ホンダアクセス、(株)本田技術研究所、マツダ㈱、(株)ミクシィ、ミズノ㈱、三菱電機㈱、鈴木工業デザイン研究会、ヤマハ㈱、ヤマハ発動機㈱、(株)LIXIL、(株)リコー、(株)リッチャエル





## 1年次

「基礎と体験」ととらえ、工芸のあり方を模索します。

工芸演習（一）	色彩演習	工芸概論 I
材料学演習（石膏）	形態演習	伝統文化論
コンピュータ演習 I	描出演習	
デザインプロセス	写真演習	

1年次は工芸の基礎を習得するとともに、陶磁、漆・木工、金工、染織の各コースを体験し広く表現力を養います。

## 卒業後の進路・活躍

[就職] アッシュ・ペー・フランス(株)、(株)アックス、石川県工業試験場、石川県輪島漆芸美術館、(株)INAX、宇仁織維(株)、AMD(株)、大阪産業大学、鹿児島大学、上出長右衛門窯、グンゼ(株)、劇団四季、株小西美術工藝社、(株)サンゲツ、セーレン(株)、スズキ(株)、セイコーワインスツル(株)、ソニー PCL(株)、武内プレス工業(株)、株TASAKI、TBカワシマ(株)、東リ(株)、株とみひろ、富山県織維試験場、西川産業(株)、ニッコー(株)、NIWAKA、白山陶器(株)、(株)パンダイ、飛騨産業(株)、独立行政法人造幣局、本田技研工業(株)、(株)SUBARU、株ミキモト装身具、(株)山崎麻織物工房、(株)ヨーガンレール、Los Angeles County Museum of Art、(株)ワコール、1-UPスタジオ

[工房・研修所] 石川県立九谷焼技術研修所、石川県立山中漆器産業技術センター、金沢卯辰山工芸工房、高岡市デザイン・工芸センター、多治見市陶磁器意匠研究所、福井県工業技術センター

[受賞・発表] アートアワードトーキョー丸の内2012ショウウエムラ賞、第50回日本クラフト展日本クラフト大賞・経済産業大臣賞、第45回伝統工芸日本金工展新人賞、第39回国際瀧富士美術賞、第25回全国染織作品奨励賞、新潟雪梁舎美術館「KOGEI2021」(育成賞・審査員賞)、「KOGEI2022」(大賞・審査員賞)、第78回金沢市工芸展(世界工芸都市宣言記念賞・工芸協会会长賞・青年会議所理事長賞・金沢市長奨励賞)、第14回現代手織物クラフト公募展(グランプリ・長野県知事賞)、国際漆展2023銀賞、第40回日本伝統漆芸展入選

## 2年次

「素材と技術」ととらえ、専門分野の知識と技術を養います。

工芸演習（二）	地域工芸演習 I (社会研究)
古美術演習	デザイン演習 I
コンピュータ演習 II	現代工芸論 I

## 陶磁コース

2年生では陶磁の基礎と表現媒体としての土の可能性を学びます。3年生では造形表現とデザイン展開を実践的に学びます。九谷焼の土壤を踏まえた技術習得に加え陶磁器による新たなモノづくりを模索し続ける、時代を見据えた次世代の表現を切り拓く人材を育成します。

## 3年次

「自己発見」の期間として、表現力と創造力を深めます。

工芸演習（三）	地域工芸演習 II (产地研修)
複合素材演習	デザイン演習 II
	現代工芸論 II



## 漆・木工コース

2年生で漆芸の基礎を学び、3年生では素材や技法の展開と応用、さらに4年生では表現を目的とし、現代における漆・木工芸の可能性を探ります。また伝統や現代あるいは地域や文化など広い視野で時代を捉え、将来広く活躍し得る人材の育成を目指します。



## 金工コース

現代の生活や社会の環境、情勢など世の中の動きを見据えながら、金属の特性を活かした鋳金、鍛金、彫金技法を習得し、豊かな表現力を養います。マンツーマン教育を通じ、次世代を担う人材の育成を目指します。



## 染織コース

当地は加賀友禅の産地であり、また合成繊維の製造・加工に関して、質・量ともにトップレベルの産地です。本コースでは伝統から先端にいたる幅広い技術の習得、造形的表現やデザイン理論に軸足をおきながら、マンツーマン教育を通して新たな時代のモノづくりを目指します。



新しい工芸の世界を切り拓く人材の育成を目指します。

工芸科では大学4年間の前半で各種伝統技法や素材について学び、特に工芸に対する知識と技術の習得を目指します。後半では「表現力と創造性」をキーワードとし、陶磁・漆・木工、金工、染織の各コースの特色をいかしながら相互に連携を保ち、専門課程を軸とした研究に取り組みます。本学士課程をとおして、世界に通ずる工芸作家やデザイナー、研究者、指導者を育成することを目指します。



能條玲衣 「ぬくもり」  
漆、麻布、金粉、白蝶貝、樹脂 H110×W38×D35cm



田代璃緒 「Maniera」  
漆、麻布、スタイルフォーム H50×W150×D150cm



原口藍 「装い」  
大島耐火土、化粧土、ガラス H135×W46×D46cm



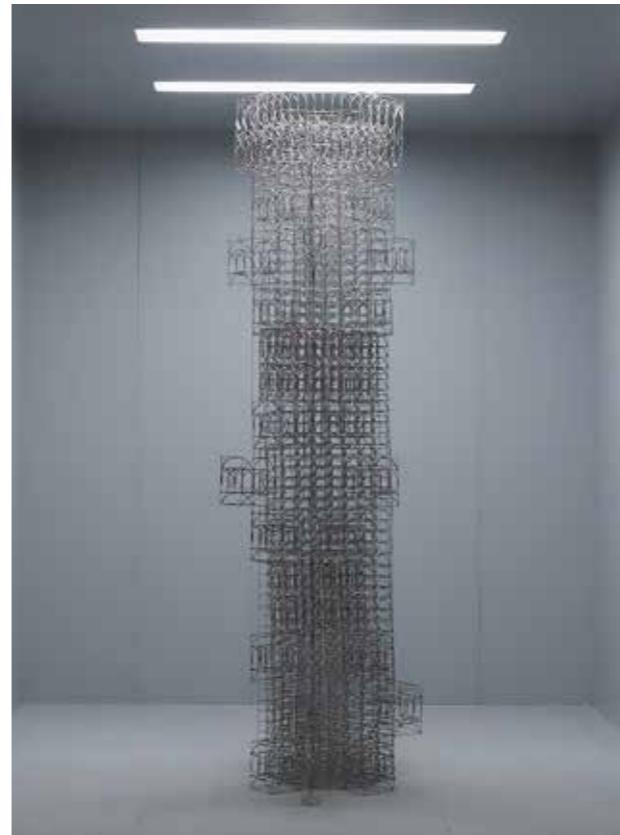
北田杏実花 「One's capacity」  
磁器、布、PPロープ H63×W73×D50cm



家長百加 「Transform series 光を扇ぐ、透ける藍、秋忘の訪れ」  
絹糸、オーガンジー、鉄ワイヤー、和紙、綿布、木  
H24×W15×D10cm H23×W14×D0.1cm H30.5×W12×D0.1cm



石渡結 「Tabula Rasa」  
綿、土による染色、ステンレス H350×W100×D100cm



福元ゆめ 「連続」  
ステンレス H235×W100×D100cm



與口真優 「阿吽」  
青銅、黒染め H40×W40×D20cm



## 一般教育等

Liberal Arts

より自由に、より創造的であるために。

ギリシア神話から人新世まで。文化、歴史、科学を学ぶ。心と身体の動きに気を配る。社会的な課題に想いを馳せる。リベラル・アーツが育む知性と感性はいつの時代も本物のアーティストの証明です。少人数・実践重視の外国语教育（英仏独伊中）は異文化理解と海外留学へのパスポート。教職課程と学芸員課程は卒業後の進路の幅を広げています。

### Curriculum

〈一般教育〉		〈教職科目〉		〈博物館科目〉	
哲学	フレッシュマンセミナー	数理科学	教育の本質と目的	美術教育法	博物館概論
心理学	博物館概論	英語	教育心理学	工芸教育法	博物館資料論
社会学	金沢の文化行政	フランス語	教職論	教育制度と社会	博物館経営論
歴史	キャリアデザイン	ドイツ語	教育課程論	生徒指導・進路指導の 理論と方法	博物館展示論
日本国憲法	スポーツ科学	イタリア語	教育方法論・特別活動の指導法	教育実習事前事後指導	博物館資料保存論
文学	物質の科学	中国語	教育とICT活用	教育実習	博物館情報・メディア論
文化人類学	材料の科学	体育実技	特別支援教育概論	博物館教育論	博物館実習
考古学	情報処理		道徳教育の指導法	教職実践演習	生涯学習概論
生涯学習概論	エコロジー		教育相談の基礎と方法		
人間と文化	科学技術史		総合的な学習の時間の指導法		

## 一般教育等／基礎科目

## 基礎科目

Basic Subjects

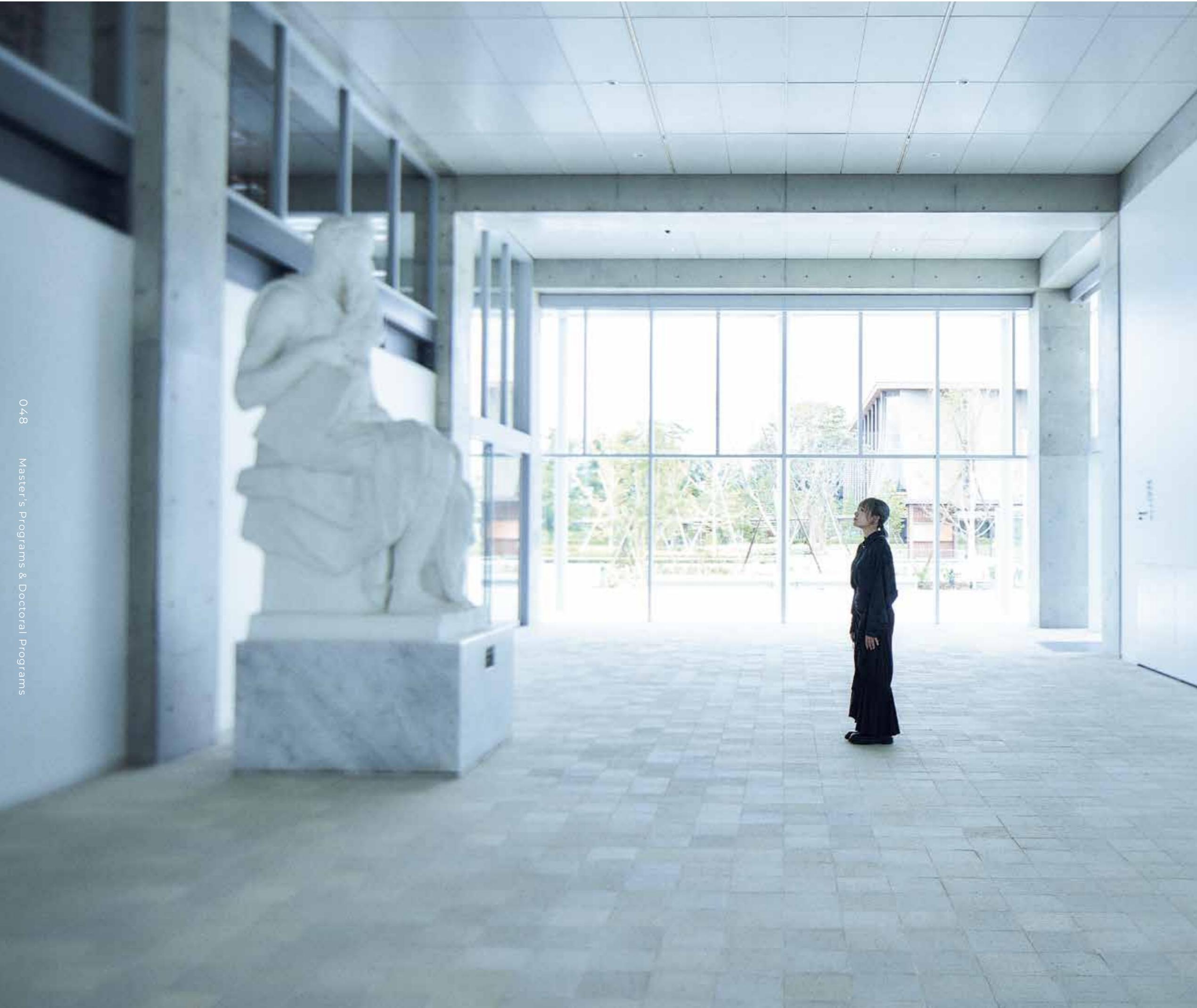
専攻の枠を超えて理論と実技を学ぶ。  
そこにはいつも新たな発見がある。

表現の手法が拡張し、融合していく時代。金沢美術工芸大学は、そのはじまりから専攻の枠を超えて学ぶことを大切にしてきました。すべての表現の根底にある本質を学び、創造力の基礎を培います。

### Curriculum

美学	専門英語演習	デザインⅡ（ステーショナリー）	造形表現工房Ⅰ（メディア/映画表現の世界）
日本美術史Ⅰ	芸術と批評	デザインⅡ（日用品）	造形表現工房Ⅱ（平面/ドローイング（人体））
日本美術史Ⅱ	保存修復概論	デザインⅢ（ディスプレイ）	造形表現工房Ⅲ（立体/彫刻表現）
東洋美術史Ⅰ	絵画Ⅰ（素描・模写）	デザインⅢ（建築）	造形表現工房Ⅳ（素材・技術/素材技術研究）
東洋美術史Ⅱ	絵画Ⅰ（素描・人体）	工芸Ⅰ（金工）	造形表現工房Ⅳ（素材・技術/現代美術 ミクストメディア）
西洋美術史Ⅰ	絵画Ⅱ（版画）	工芸Ⅱ（陶磁）	造形表現工房Ⅳ（素材・技術/芸術と科学）
西洋美術史Ⅱ	絵画Ⅲ（日本画）	工芸Ⅱ（ガラス）	造形表現工房Ⅴ（社会環境/アートプロジェクト）
近代美術史	絵画Ⅲ（油絵）	工芸Ⅲ（木工）	造形表現工房Ⅴ（社会環境/景観形成・造園演習）
工芸史Ⅰ	絵画Ⅲ（フレスコ）	工芸Ⅲ（漆・木工）	造形表現工房Ⅴ（社会環境/社会教育・美術教育）
工芸史Ⅱ	彫刻Ⅰ（塑造）	工芸Ⅳ（染織）	造形表現工房Ⅵ（語学・理論/美術教育セミナー）
美術工芸特論	彫刻Ⅱ（彫造）	映像メディア	造形表現工房Ⅵ（語学・理論/芸術と言語表現）
美術解剖学	彫刻Ⅲ（ヴィジュアル・メディア）	コンピュータグラフィックス	造形表現工房Ⅵ（語学・理論/工芸作品展示と言語表現）
図学	デザインⅠ（ゲームデザイン）	版画	
色彩論	デザインⅠ（ファッショントリニティ）	工芸技法（紙）	
デザイン心理学	デザインⅠ（写真）	現代美術演習	
建築論	デザインⅡ（椅子）		





## 大学院

修士課程

博士後期課程



# 修士課程

Master's Programs



050

Master's Programs

## 絵画専攻

日本画コース・油画コース・映像コースの3つの研究分野があります。「日本画制作」、「油画制作」、「映像制作」等の実技演習を中心とし、一方で、「絵画特論」、「映像特論」をはじめとして、「美術史特講（日本・東洋・西洋）」や「美学・芸術学特講」など理論面でも充実しています。絵画・映像の理論および技術をより専門的に探究するとともに、今日の表現にも目を向け、自由な発想のもと多様化する美術の展開に対応しています。

## 彫刻専攻

彫刻コースでは、塑造、木彫、石彫、金属彫刻を、環境彫刻コースでは、インスタレーション、コンセプチュアルな創造、ジャンルを横断した造形に対応する制作を行っています。理論科目では、都市空間、公共空間、自然空間の中での立体造形について考察し、多様化する現代美術の展開についても思考を重ねています。伝統的表現技法を追求しつつ、自由な発想のもと創造の世界を広げ個性的な作品を生み出すことを目指しています。

## 芸術学専攻

美学・美術史・工芸論を中心とする視覚文化研究、作品制作やキュレーション等の実践を伴う現代美術研究の2つの研究分野をおき、演習・特講によって専門研究を行っています。また分野にとらわれない総合的・学際的関心を育成するための「芸術学特論」、美術大学の特色を生かした技法・素材研究のための「美術技法研究」なども設けられています。公開の研究発表を重ねながら学術的に高度なレベルの修士論文を制作し口頭発表することが課せられています。金沢の様々な美術館・博物館を活用した授業、国内外の実地調査、展示企画等の指導も行い、理論と実践を兼ね備えた美術の専門の研究者の育成を目指しています。修了生は学芸員をはじめとして広く美術の分野で活躍しています。博士後期課程進学、海外留学を選ぶ学生も多くいます。

## 工芸専攻

陶磁、漆・木工、金工、染織の4コースがあり、金工と染織はさらに2分野に分かれ、6専門分野で構成されています。恵まれた環境のもと、技術的、造形的に、高度な研究ができるよう配慮されています。実技・演習に重点を置きつつ、理論的造形思考を高めるために「工芸特論」、「地域文化論」をはじめとして10理論科目が開講されています。常に伝統と現代を追求すること、素材に対する新たな挑戦が期待されています。

## デザイン専攻

視覚デザイン、製品デザイン、環境デザインの3つのコースがあり、現代社会とデザインの様々なテーマに即した実践的な演習が設けられています。また研究の深化には造形の基礎と展開及び方法論が不可欠であるという認識のもと、理論科目も用意されています。博士後期課程への進学の道が開かれています。修了後は、研究者、教育者、ディレクター、デザイナーとして活躍しています。



絵画専攻 | 前田茜 「穏やかな春」



工芸専攻 | 工藤史佳 「狭間」



彫刻専攻 | 二宮海 「時の波紋」



デザイン専攻 | 金丸佑平 「Gamification × Rehabilitation リハビリテーションの体験を豊かに変えるデザインの研究」

051

Master's Programs

専門性を高め学間に通じる道を拓く。

実践のなかに理論を見出し、理論から実技へ発展させます。

相互に学びを高めることで、作品と理論を深化させていきます。

国際的に開かれた環境で切磋琢磨を重ねる、創造と研究の場です。

新設

修士課程 絵画専攻 映像コース  
Moving Image Course



広く映像文化を学び、映像表現を探求します

アニメーション、映画、ゲーム、メディアアートの専門家による講義やフィルムメディアとデジタルメディアの撮影・編集を学ぶ演習、セット撮影・録音・カラーグレーディング・上映の各機能が整うコース教室及びメディアセンター内スタジオ群を利用した作品制作を通じて、映像表現について総合的に研究します。\*大学院修士課程2023年度新設のコースです。

主な演習のご紹介

\*本ページで紹介する写真には本学美術工芸学部 油画専攻 映像表現コースが参加した授業風景が含まれています。



ビデオ撮影演習(新キャンパス屋外)



映像制作指導(客員教授:萩原朔美)



映像制作指導(客員教授:細田守)



録音・MA演習(非常勤講師:口出洋徳)



ビデオ撮影演習(映像撮影スタジオ)



映像制作指導(映像展示スペース)



映像制作指導(非常勤講師:黒坂圭太)



カラー調整演習(カラー調整スタジオ)

各分野の専門家が客員教授・非常勤講師として  
講義・演習・実習などを担当し、より実践的な指導を行います。

〈客員教授〉

萩原朔美 (多摩美術大学 名誉教授、萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち 前橋文学館 館長)  
細田守 (アニメーション映画監督)

〈非常勤講師〉

石田尚志	(多摩美術大学)	仲本拡史	(映像作家)
井口奈己	(映画監督)	名和田克典	(イラストレーター)
菊谷達史	(美術作家)	氷川竜介	(アニメ・特撮研究家)
キヤマミズキ	(アニメーション作家)	Blackmagic Design	
口出洋徳	(コトジット)	前川裕介	(映像・写真カメラマン)
黒坂圭太	(武蔵野美術大学)	宮崎昭秀	(クリエイティブディレクター)
田所淳	(前橋工科大学)	宮原康展	(映像ディレクター)
土肥悦子	(こども映画教室 <sup>®</sup> )	森岡東洋志	(ベースドラム)
永田康祐	(美術作家)	安原広和	(東京工科大学)



# 博士後期課程

Doctoral Programs



054

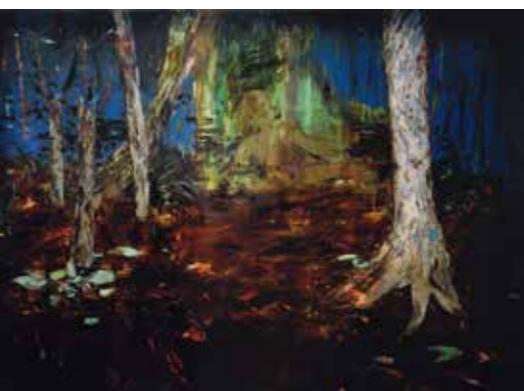
Doctoral Programs

## 美術工芸専攻

大学院博士後期課程では、「芸術に関する高度な創造および表現の技術と理論を研究教授し、地域の美術工芸の深奥を究め、これを総合的に発展創造させ、自立して創作および研究活動を行うために必要な高度の能力を備えた美術家および研究者を養成すること」を目的とした研究制作指導・博士論文指導を行っています。

年2回公開の研究発表が行われるほか、「地域美術演習」、「造形総合研究」といった実技と理論を総合した学際的な科目も設けられ、学内外を研究の場とした比較的自由なカリキュラムのなかで研究が保証されています。

博士後期課程の学生たちは国内外で活躍する作家、研究者でもあり、積極的に広く研究活動の場を求めています。1997年の設置以来、作家、デザイナー、研究者、国内外の大学教員など、精力的に活躍している73名の芸術博士を世に送り出してきました。



沖田愛有美 「ほほえみのビオトープ」  
木版に寒冷紗、漆、金属粉、岩石粉 H122×W171.5cm 2024



サルチョード・イル 「生命の響き」  
櫻、銀杏、樟、朴 サイズ可変 2024



胡羽恬  
「花の遊吟I -秋の花-」  
陶土、下絵の具、釉薬  
H42×W37×D30cm  
2021



王麗楠  
「増殖 2023.2」  
漆、布、砥の粉  
H25×W90×D27cm  
2023

〈美術研究領域〉	〈工芸研究領域〉	〈環境造形デザイン研究領域〉	〈芸術学研究領域〉
日本画 油画 彫刻	陶磁 漆芸 金工 染織	環境デザイン ヴィジュアルデザイン プロダクトデザイン	美学・現代評論 現代美術領域制作・理論 視覚文化研究・近現代工芸史 日本・東洋美術史 西洋美術史

055

Doctoral Programs



大学情報

056

057

# 美術工芸研究所

美術工芸研究所では、本学独自の研究の高度化を図ることを目的として、美術・工芸・デザインに関する調査・研究、芸術資料の収集と管理（保存・活用）、アートギャラリーの運営（展覧会）などの事業を行っています。

アートギャラリーでは、本学が所蔵する作品をコレクション展や特別展を通して様々な切り口で公開します。

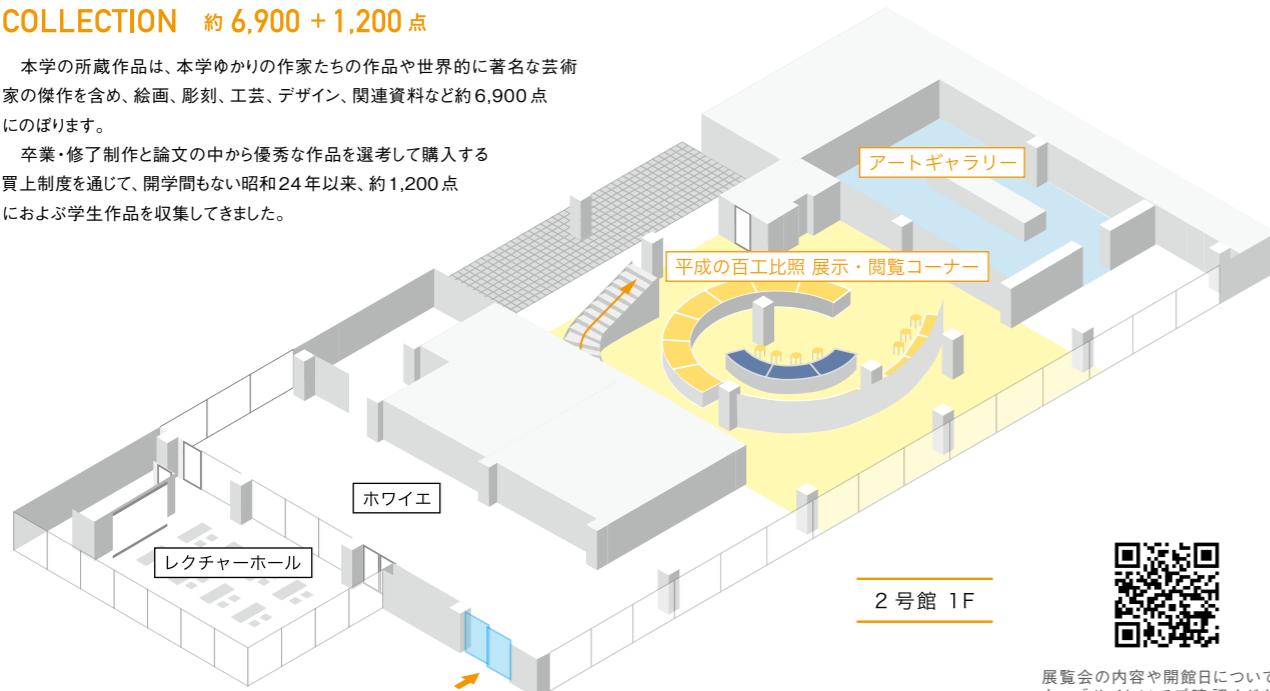
また、現在進行中の調査研究として「平成の百工比照収集作成事業」があります。江戸時代に加賀藩が収集した工芸標本「百工比照」（重要文化財）にちなむ事業で、工芸の制作や理論を専門とする本学教員が全国の産地を訪ね、約6,200点におよぶ資料を収集してきました。その資料は平成の百工比照 展示・閲覧コーナーで閲覧することができます。

研究所長 安島論 教授（インダストリアルデザイン）  
山崎剛 教授（芸術学）  
村松綾 准教授（芸術学）

## COLLECTION 約 6,900 + 1,200 点

本学の所蔵作品は、本学ゆかりの作家たちの作品や世界的に著名な芸術家の傑作を含め、絵画、彫刻、工芸、デザイン、関連資料など約6,900点にのぼります。

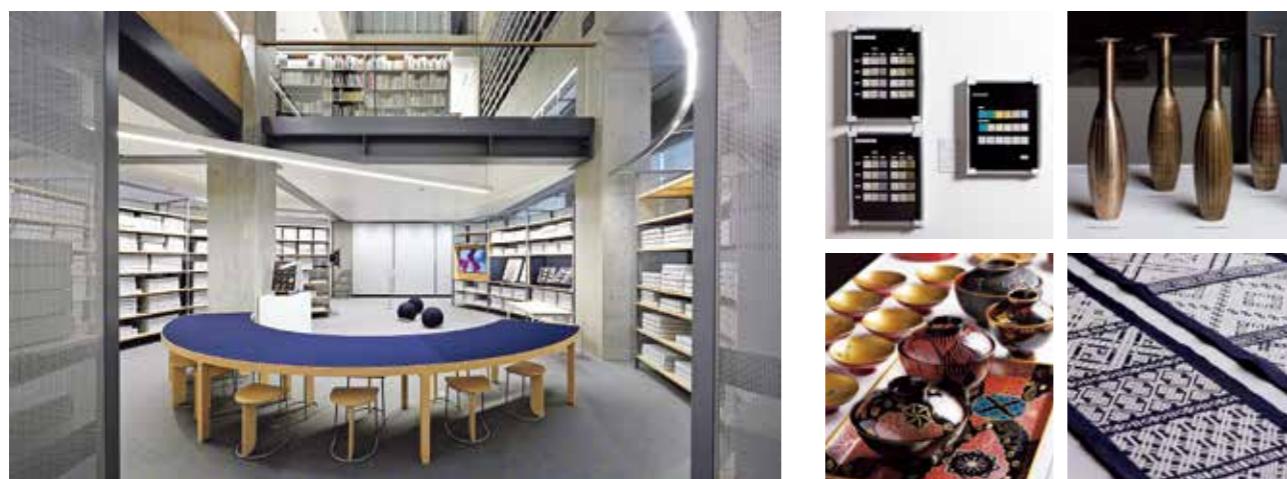
卒業・修了制作と論文の中から優秀な作品を選考して購入する買上制度を通じて、開学間もない昭和24年以来、約1,200点におよぶ学生作品を収集してきました。



展覧会の内容や開館日については  
ウェブサイトにてご確認ください。

## 平成の百工比照 展示・閲覧コーナー

工芸の材料・技法・制作工程にかかる見本が箱に納められており、棚から自由に取り出して閲覧できます。



## アートギャラリー

本学所蔵の美術・工芸・デザインに関する作品や資料および学生買上作品を展示公開するための施設です。



鶴居玲「Clown」、リトグラフ



マイセン磁器、ドイツ、20世紀



アートギャラリー内の展示風景 新キャンパス移転記念「金沢美術工芸大学所蔵名品展」

## 教育研究センター

教育研究センターでは、教育研究活動の推進とその成果の発信・顕彰、FD活動による教育の質的向上、研究不正の防止、および研究倫理の遵守の徹底を目的とし、学内の教員研究費や科学研究費助成事業をはじめとする外部資金による研究の推進、本学教員の研究活動を紹介する研究発表展（金沢21世紀美術館）の開催、学生の主体的な活動を顕彰するKANABIクリエイティブ賞などの事業を行っています。

教育研究センター長 荷方邦夫 教授（一般教育等）



「金沢美術工芸大学教員研究発表展2023 美大のしごと」  
(金沢21世紀美術館市民ギャラリー)



## 【学外施設】 柳宗理記念デザイン研究所

本学で長年にわたり教鞭をとった、世界的工業デザイナーである柳宗理氏（1915–2011）のデザイン思想やデザイン史における位置づけに関する調査研究を行い、その成果を学生の教育に活かし、広く社会に発信することを目的としています。なお、同氏の貴重な資料はご遺族より金沢市に寄贈され、現在、それを核とするデザインミュージアムの計画が進められています。

所長 根来貴成 教授（インダストリアルデザイン）



常設展示（展示資料室1）



「技術とかたち－柳宗理の木工家具－曲木」（展示資料室2）

## 社会共創センター

金沢美術工芸大学は社会貢献を教育と研究に並ぶ大学の使命と位置づけ、地域連携・产学連携をとおして積極的に活動を行っています。本学の持つデザイン、美術工芸分野に関する専門知識や技術、社会連携で得られた成果を広く社会に還元するとともに、産業や地域の活性化に貢献し、これらの活動を体験することで、より実践的に社会に貢献できる人材を育成します。

社会共創センター長 河崎圭吾 教授（インダストリアルデザイン）

### 地域連携部門

本学のもつ人的資源やノウハウを活用し、地域社会や市民生活に対する芸術文化貢献事業などを通じ、グローバルな視点を持ちながら地域の課題解決に取り組んでいます。

### 产学連携部門

地域産業や伝統文化の発展のため、企業、組合団体、他大学、研究機関、国や自治体などと連携し、新しい価値を創出する研究開発や、新たな産業・事業の振興を目指しています。

### 知財管理部門

大学で生まれた知的財産権の管理、活用や戦略立案、知的財産権を通じた社会との連携促進まで、産業界や地域社会と一体となって各連携部門の活動を支援、推進しています。

### 金沢マラソン 完走メダルデザイン・プロジェクト

金沢マラソンは金沢をまるごと「走る」をキャッチフレーズに2015年から開催されており、金沢の魅力が満喫できるフルマラソンとして大変人気の高い大会となっています。その完走者に贈るメダルのデザインを、初回大会から続けて提案させていただいている。学生たちの豊かな感性をベースにした金沢らしいオリジナリティあるデザインの完走メダルは、毎回、ランナーからも大変好評となっています。



### 「プライドポテトJAPAN 金沢の甘えび」 パッケージデザイン・プロジェクト

株式会社湖池屋との連携研究として2020年から行われているプロジェクトです。「日本の誇り」をプライドポテトにのせて発信することで、日本の風土・文化により育まれてきた歴史や精神に象徴される日本の素晴らしさを世の中に広めるプロジェクトで、金沢を代表する甘えび味の商品パッケージデザインを学生たちが制作し、金沢市内の小学生や市民の投票結果を踏まえ最終案が商品化されています。毎年、全国販売され好評を得ています。



### ホスピタリティアート・プロジェクト

金沢市立病院との連携により2009年から継続して行われている、医療分野におけるアートの潜在的な可能性を探求するプロジェクトです。ステンドグラス風の装飾を制作するワークショップや、病院を作品で満たすホスピタル・ギャラリーなどを通して、患者、医療関係者、学生が同じ視点で時間を共有するコミュニケーションの在り方を研究しています。



### メガネのデザイン・プロジェクト

福井県眼鏡協会との連携によるプロジェクトで、もとをただせば「めがね部」という学生が主体のクラブ活動に端を発し2003年から継続されている研究です。研究成果やノウハウは先輩から後輩へ引継がれ蓄積されており、商品化の実績もあります。メガネの世界的な产地である福井県鯖江市の世界トップクラスの技術、品質、信頼性と学生ならではの創造性の融合により、产地の活性化にも貢献しています。



常設展示（展示資料室1）

「技術とかたち－柳宗理の木工家具－曲木」（展示資料室2）

## 国際交流センター

世界を舞台に活躍する芸術家、デザイナー、研究者などの育成を目指し、海外作家講演会、海外作家招聘事業、大学間交流などの国際交流活動を行っています。

国際交流センター長 稲垣健志 准教授（一般教育等）

### 海外作家講演会

海外のアーティスト、デザイナー、大学教員、研究者等による講演会です。

各分野の専門知識や最新の情報・動向を得る機会を提供しています。



リチャード・ファンデルラーケン 氏

### 大学間交流

ゲント王立美術アカデミー（ベルギー／ゲント）、ナンシー国立高等美術学校（フランス／ナンシー）、清華大学美術学院（中国／北京）、大連工業大学（中国／大連）などと交流協定を結び、学生・教職員の相互派遣などを行ってきました。今後も順次大学間交流を拡充していく予定です。



エドインバラ大学からの留学生との交流



ナンシーからの留学生との交流



ゲント留学の様子



大連工業大学からの留学生との交流

## 附属図書館

### 万巻の書籍から、ひらめく発想がある

附属図書館は美術・工芸・デザイン関係の図書を中心に、国内外の貴重な画集や研究書の古典籍、江戸時代の和絵本、あるいは各地で開催された展覧会の図録が多く収集されています。

また、美術の研究に供するため、東西の文学、歴史、哲学、宗教等の隣接分野の辞書、全集、研究書などの収書にも力を入れています。それらの多くが開架式で配架されており、何気なく手に取った本、目にした画集等の内容や挿絵だけでなく、表紙、フォント、その時代の印刷技術から創作のインスピレーションを得られるようになっています。また、図書等だけでなく、伝統工芸から現代美術まで、あるいは古典映画などの視聴覚資料も収集しており、館内AVブースで視聴することができます。専門性の高い図書館ですが、司書による図書館の活用や専門書の探索などのレファレンス機能があり、研究を進める時のサポートが得られます。また、学生同士で学ぶ時に使える学習スペースもあります。

本学附属図書館は1946年金沢美術工芸専門学校の設立から歩みを始めましたが、新キャンパスに移転した現在も、これまでの多くの学生、研究者が学び研究した面影を今に引き継いでいます。

附属図書館長 桑村佐和子 教授（一般教育等）



### 蔵書

2024.3.31現在

図書	124,945 冊
和書	96,081 冊
洋書	28,864 冊
雑誌	1,452 誌
和書	1,301 誌
洋書	151 誌
視聴覚	3,380 タイトル

### 利用状況

2023年度

入館者数	19,297 人
貸出冊数	8,504 冊
市民登録者数（累計）	1,259 人

# 学生生活

## 美大祭

毎年11月初旬、本学創立記念日（11月7日）の前に、自治会（美大祭実行委員会）の主催で美大祭を開催しています。作品展示、講演会、仮装パレード、屋外模擬店、ステージイベントなど多彩な催しです。学生・教職員相互の親睦はもとより、市民との交流を深める行事です。



## 学外研修

各専攻実習授業の一環として、年に3日～6日間の研修が実施されています。各専攻の研究内容、社会情勢、学生事情等にあわせて計画・研修地が選ばれ、国内外の古美術研修、郊外写生授業、企業実習体験、アトリエ訪問などを行います。学生にとっては数少ない宿泊を伴う研修で、近年は海外研修を実施する専攻もあり、学生が楽しみにしている授業のひとつです（旅行費用等は入学時に納入）。



## クラブ活動

体育系、文化系のみならず、本学ならではの個性的なクラブがあり、多くの学生が活動に参加しています。のびのびとスポーツを楽しむ、同じ趣味の仲間が集うといったクラブが多く、学年、学科・専攻を越えた友好の場となっています。



## 五芸祭

愛知県立芸術大学・沖縄県立芸術大学・京都市立芸術大学・東京藝術大学・本学の五芸術大学の交歓会で、体育競技会、文化交流会を通じて、課外活動の発展を促進し、学生相互の親睦を図ることを目的に、毎年5月に各大学の輪番制で開催しています。



## 卒展・卒業式

毎年2月に、金沢21世紀美術館で卒業・修了制作展が開催され、学生生活の集大成となる作品を展示しています。本学関係者のみならず、多くの市民の方が足を運び、作品を鑑賞していただいております。また、3月に開催される卒業式では、自身で制作した仮装姿で式に臨む卒業生が多くいます。その歴史は昭和50年代初め頃までさかのぼり、脈々と受け継がれる本学の名物となっています。

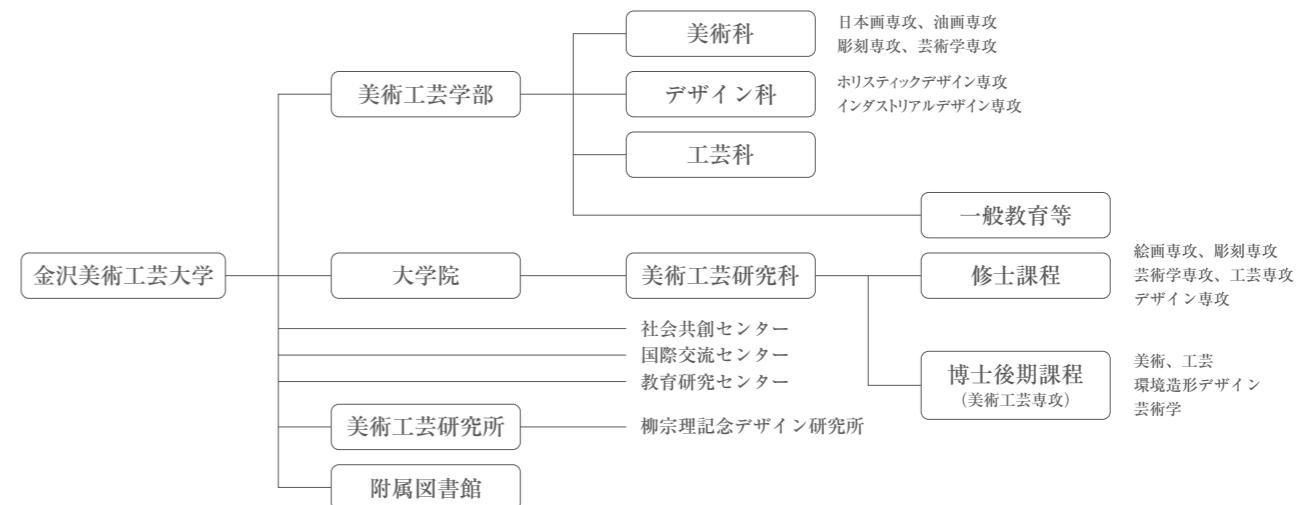


## 生活支援

学内には、食事を提供する学生ラウンジ、画材を調達できる売店、保健室、様々な相談を気軽にできる学生相談室が開設されています。その他、日本学生支援機構をはじめ各種の奨学金を申請することができます。また、留学を志す学生には海外の交流提携大学への派遣制度もあります。



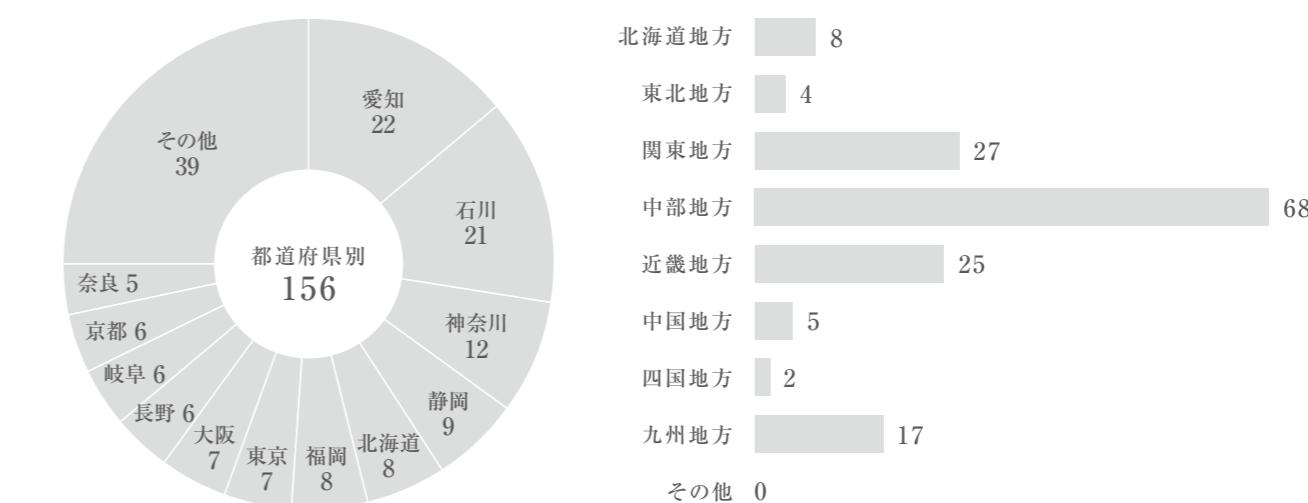
## 大学の組織 (2024)



## 学生数 (2024)

学 部			
学科	専攻	入学定員	収容定員
美術科	日本画	15	60
	油画	25	100
	彫刻	15	60
	芸術学	10	40
デザイン科	ホリスティックデザイン	40	160
	インダストリアルデザイン	20	80
工芸科		30	120
合計		155	620
修士課程			
専攻	入学定員	収容定員	
絵画	14	28	
彫刻	4	8	
芸術学	4	8	
デザイン	6	12	
工芸	13	26	
合計	41	82	
博士後期課程			
専攻	入学定員	収容定員	
美術工芸	7	21	
合計	7	21	

## 出身校所在地別入学者数 (2024)



## 入学試験結果 (学部)

		2024						
		一般選抜			推薦入試			入学者
		募集人員	志願者	倍率	募集人員	志願者	倍率	
美術科	日本画	15	76	5.1	—	—	—	15
	油画	25	120	4.8	—	—	—	25
	彫刻	15	45	3.0	—	—	—	15
	芸術学	7	13	1.9	3	8	2.7	11
デザイン科	ホリスティックデザイン	40	367	9.2	—	—	—	40
	インダストリアルデザイン	18	78	4.3	2	18	9.0	20
工芸科		24	102	4.3	6	29	4.8	30
合計		144	801	5.6	11	55	5.0	156

## 学費 (学部)

入 学 金	金沢市内居住者	282,000 円	入学手続時に納入	
	上記以外の者	423,000 円		
授 業 料	年間	535,800 円	4月30日までに納入	
	前期分 (4月~ 9月)	267,900 円		
	後期分 (10月~ 3月)	267,900 円		
その他の経費	成美会費 (後援会費)	60,000 円	10月31日までに納入	
	学生自治会費	10,000 円		
その他の経費 (専攻別)	研修旅行費	日本画専攻	100,000 円	入学手続後に納入
		油画専攻	200,000 円	
		彫刻専攻	100,000 円	
		芸術学専攻	100,000 円	
		インダストリアルデザイン専攻	250,000 円	
		工芸科	130,000 円	
	専攻実習費	日本画専攻	110,000 円	入学手続時に支払う分
		油画専攻	90,000 円	
		彫刻専攻	280,000 円	
		ホリスティックデザイン専攻	100,000 円	
	インダストリアルデザイン専攻	120,000 円		

※入学金・授業料等は改定される場合があります。  
※在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。  
※納入した入学金・授業料は返還しません。  
※高等教育の修学支援制度の対象となっています。

## 奨学金 (学部・大学院)

2023年度 (令和5年度)				
給付・貸与の別	支給対象の学生数	対象	1件あたりの年間支給額	
日本学生支援機構奨学金 (第一種)	貸与	101	学部	(平均) 448,000 円
日本学生支援機構奨学金 (第二種)	貸与	96	学部	(平均) 725,000 円
日本学生支援機構奨学金 (第一種)	貸与	24	大学院	(平均) 915,000 円
日本学生支援機構奨学金 (第二種)	貸与	1	大学院	(平均) 1,200,000 円
日本学生支援機構奨学金	給付	64	学部	(平均) 580,000 円
吉原育英会	給付	1	学部	240,000 円
キーエンス財団 応援給付金	給付	1	学部	300,000 円
北九州市奨学資金	貸与	1	学部	540,000 円
あしなが育英会大学奨学生	給貸併用	3	学部・大学院	(平均) 480,000 円
中村積善会奨学金	給付	1	学部・大学院	600,000 円
神山財団芸術支援プログラム	給付	1	大学院	200,000 円

(令和6年3月現在)

## 奨学金 (外国人留学生)

2023年度 (令和5年度)				
給付・貸与の別	支給対象の学生数	対象	1件あたりの年間支給額	
石川県私費外国人留学生奨学金 (入学から1年未満)	給付	1	大学院	240,000 円
日本台湾交流協会日本奨学金	給付	2	大学院	1,740,000 円

(令和6年3月現在)

## 生活費のめやす

ひとり暮らしの場合 (1ヶ月当たりの金額)		
めやす	平均	
家賃 (共益費を含む)	25,000 円 ~ 60,000 円	37,000 円
食費	10,000 円 ~ 53,000 円	27,000 円
部屋の広さ	6畳 ~ 15畳	9畳
光熱水費 (ガス・水道・下水道・電気)	4,000 円 ~ 15,000 円	9,000 円

◎大学周辺にはたくさんの学生向け住宅等があり、徒歩や自転車で10分程度の通学範囲です。

◎近所に友達が住んでいるという環境で、学生同士の交流が活発なため、女子学生にも安心です。

◎一軒家をシェアして借りる学生もあり、住み方は様々で、通信費や光熱費込みとなっている住宅等もあります。

# 教員一覧

## 客員教授

野地耕一郎 (泉屋博古館東京)  
能島浜江 (作家)  
村居正之 (日本画)  
米谷清和 (日本画)  
北田克己 (日本画)  
木村克朗 (油画)  
萩原朔美 (油画)  
遠藤彰子 (油画)  
細田守 (映像)  
藤浩志 (彫刻)  
深井隆 (彫刻)  
西野達 (芸術学)  
木村絵理子 (芸術学)  
堀川理沙 (芸術学)  
山本豊津 (芸術学)  
石浦弘幸 (ホリスティックデザイン)  
川村真司 (ホリスティックデザイン)  
小山弓弦葉 (ホリスティックデザイン)  
中垣信夫 (ホリスティックデザイン)  
阿部雅世 (ホリスティックデザイン)  
井上聰 (ホリスティックデザイン)  
中川エリカ (ホリスティックデザイン)  
太刀川英輔 (インダストリアルデザイン)  
原田則彦 (インダストリアルデザイン)  
鈴木啓太 (インダストリアルデザイン)  
蓮池横郎 (インダストリアルデザイン)  
倉本仁 (インダストリアルデザイン)  
樋田豊次郎 (工芸)  
森口邦彦 (工芸)  
山岸一男 (工芸)  
今泉今右衛門 (工芸)  
影山公章 (工芸)

## 日本画

〔教授〕  
松崎十朗  
佐藤俊介  
荒木恵信  
〔准教授〕  
石崎誠和  
〔非常勤講師〕  
荒木史 (表漬師)  
岩田壯平 (武藏野美術大学)  
岡村桂三郎 (多摩美術大学)  
北澤憲昭 (美術評論家)  
岸野香 (女子美術大学)  
新恵美佐子 (作家)  
高島圭史 (東京藝術大学)  
塚本磨充 (東京大学)  
土屋禮一 (本学名誉教授)  
中村賢次 (崇成大学)  
仁志出龍司 (本学名誉教授)

## 彫刻

野地耕一郎 (泉屋博古館東京)  
能島浜江 (作家)  
林秀樹 (作家)  
松永敏 (作家)  
森美樹 (作家)  
山田毅 (作家)  
山本隆 (作家)  
〔教授〕  
土井宏二  
浜田周  
芝山昌也  
〔准教授〕  
高瀬純子 (ファッション)  
西本耕喜 (建築)  
〔講師〕  
七堀綾乃  
〔非常勤講師〕  
高橋治希 (絵画・立体・空間表現)  
鈴木浩之 (絵画・映像)  
岩崎純 (絵画・ミクストメディア)  
〔講師〕  
武田雄介 (絵画・インスタレーション)  
早見紗也佳 (映像)  
〔非常勤講師〕  
石田尚志 (多摩美術大学)  
江口綾音 (作家)  
奥野惠 (アートフロントギャラリー)  
神谷佳男 (版画作家)  
喜井農治 (モザイク作家)  
黒坂圭太 (武藏野美術大学)  
佐藤一郎 (本学名誉客員教授)  
末松智 (造形作家・復元家)  
高松美咲 (まんが家)  
中川暁文 (作家)  
中桐聰美 (作家)  
永田康祐 (アーティスト)  
西山美なコ (作家)  
丹羽洋介 (作家)  
長谷川新 (インディエンデントキュレーター)  
東村アキコ (まんが家)  
福島唯史 (日本大学)  
藤井俊治 (成安造形大学)  
藤原工 (照明デザイナー)  
細川貴司 (東北芸術工科大学)  
前川裕介 (写真・映像カメラマン)  
松村浩之 (富山大学)  
MIOKO (アーティスト、役者、モデル)  
宮原康展 (CMディレクター)  
三輪瑛士 (作家)  
向川惣一 (美術史家)  
村上良 (ホルベインラボ株式会社)  
山本順子 (作家)  
山本基 (作家)  
横江昌人 (作家)  
角谷修 (空間デザイン)  
寺井剛敏 (プランディング)  
鍔隆弘 (ランドスケープ)

## 芸術学

〔教授〕  
山崎剛 (工芸史・工芸論)  
よしだぎょうこ (現代美術)  
〔准教授〕  
金島隆弘 (現代美術・キュレーション)  
村松綾 (西洋美術史)  
〔非常勤講師〕  
さわひらき (アーティスト)  
佐直麻里子 (アーティスト)  
モンデンエミコ (アーティスト)  
林一平 (木彫作家)  
名雪園代 (漆造形作家)  
岡泰央 (墨書き堂)  
塩谷純 (東京文化財研究所)  
古川萌 (名古屋工業大学)  
高野詩織 (町田市立国際版画美術館)  
畠中英二 (京都市立芸術大学)  
荒木慎也 (多摩美術大学)  
早川めぐみ (チューリッヒ大学)  
佐々木千嘉 (金城大学)  
上田恒夫 (本学名誉教授)  
〔ホリスティックデザイン〕  
山本順子 (作家)  
山本基 (作家)  
横江昌人 (作家)  
角谷修 (空間デザイン)  
寺井剛敏 (プランディング)  
鍔隆弘 (ランドスケープ)

鈴木康雄 (映像)  
畠野裕司 (パッケージデザイン)  
北村賢哉 (プロダクト)  
坂野徹 (エディトリアル)  
〔准教授〕  
廣瀬純子 (ファッション)  
西本耕喜 (建築)  
〔講師〕  
高田大資 (グラフィック)  
樺島脩 (ゲーム)  
〔非常勤講師〕  
モンドンエミコ (作家)  
※現視覚デザイン専攻・現環境デザイン専攻の非常勤講師を含む  
山内祥太 (作家)  
鈴木典生 (彫刻家)  
イトウユウヤ (テクニカルディレクター)  
林一平 (彫刻家)  
渡辺秀亮 (石彫家)  
本郷芳哉 (彫刻家)  
宮永愛子 (作家)  
〔講師〕  
河崎圭吾 (家電デザイン)  
石井うさぎ (ExecutiveCreativeDirector)  
石井秀幸 (studio terra)  
上坂達朗 (東洋設計)  
岡野邦彦 (Shotype Design)  
沖津真美 (Epice)  
尾上永晃 (電通)  
金子早苗 (金子早苗建築空間設計室)  
上岡大介 (株式会社セガ)  
川上すみれ (乃村工藝社)  
工藤桃子 (MMA Inc.)  
久富裕史 (フォトグラファー)  
国枝千晶 (スクリーンプロセスクリエイタ)  
熊崎信也 (ハル研究所)  
桑原秀平 (博報堂)  
洪恒夫 (丹青社)  
駒井麻朗 (MA-DO Inc.)  
下浜臨太郎 (アートディレクター)  
坂本英之 (金沢職人大学校理事長・校長)  
相樂賢太郎 (ボラード)  
佐々木隼 (オインクゲームズ)  
名雪園代 (漆造形作家)  
白井敬尚 (グラフィックデザイナー)  
鈴木克彦 (博報堂)  
須田武憲 (GK設計)  
高橋歩 (クリエイティブディレクター)  
高村達 (写真家)  
館田千里 (オータニアートスクール金沢)  
谷清鳳 (乃村工藝社)  
鳥海修 (字游工房)  
中垣信夫 (ミームデザイン学校校長)  
中川暁文 (作家)  
中村政義 (アラクチャード)  
早川和良 (xpd)  
春名伊佐也 (乃村工藝社)  
平野滉太郎 (平野滉太郎デザイン研究所)  
廣村正彰 (廣村デザイン事務所)  
藤岡篤子 (プロジェクト代表)  
藤崎圭一郎 (東京藝術大学)

前伊知郎 (プラスファクトリー)  
又野健太郎 (プロデューサー)  
神子澤知弓 (神子澤知弓デザイン事務所)  
三澤直加 (グラグラッド)  
水口克夫 (Hotchkiss)  
三觜翼 (プロダクトデザイナー)  
三村起一 (地球環境戦略研究機関)  
山口省一 (mycolorsp)  
山本周 (山本周建築設計事務所)  
吉川豪 (パナソニック)  
吉川義盛 (京都精華大学)  
吉村寿博 (吉村寿博建築設計事務所)  
米村浩 (BrightSideLLC / 博報堂)  
賴安ブルノ礼市 (建築設計施工)  
〔インダストリアルデザイン〕  
朝山勝允 (Nike)  
池田洋一郎 (ミュージシャン)  
石井うさぎ (ExecutiveCreativeDirector)  
石井秀幸 (studio terra)  
上坂達朗 (東洋設計)  
岡野邦彦 (Shotype Design)  
沖津真美 (Epice)  
尾上永晃 (電通)  
金子早苗 (金子早苗建築空間設計室)  
上岡大介 (株式会社セガ)  
川上すみれ (乃村工藝社)  
工藤桃子 (MMA Inc.)  
久富裕史 (フォトグラファー)  
国枝千晶 (スクリーンプロセスクリエイタ)  
熊崎信也 (ハル研究所)  
桑原秀平 (博報堂)  
洪恒夫 (丹青社)  
駒井麻朗 (MA-DO Inc.)  
下浜臨太郎 (アートディレクター)  
坂本英之 (金沢職人大学校理事長・校長)  
相樂賢太郎 (ボラード)  
佐々木隼 (オインクゲームズ)  
名雪園代 (漆造形作家)  
白井敬尚 (グラフィックデザイナー)  
鈴木克彦 (博報堂)  
須田武憲 (GK設計)  
高橋歩 (クリエイティブディレクター)  
高村達 (写真家)  
館田千里 (オータニアートスクール金沢)  
谷清鳳 (乃村工藝社)  
鳥海修 (字游工房)  
中垣信夫 (ミームデザイン学校校長)  
中川暁文 (作家)  
中村政義 (アラクチャード)  
早川和良 (xpd)  
春名伊佐也 (乃村工藝社)  
平野滉太郎 (平野滉太郎デザイン研究所)  
廣村正彰 (廣村デザイン事務所)  
藤岡篤子 (プロジェクト代表)  
藤崎圭一郎 (東京藝術大学)

## 工芸

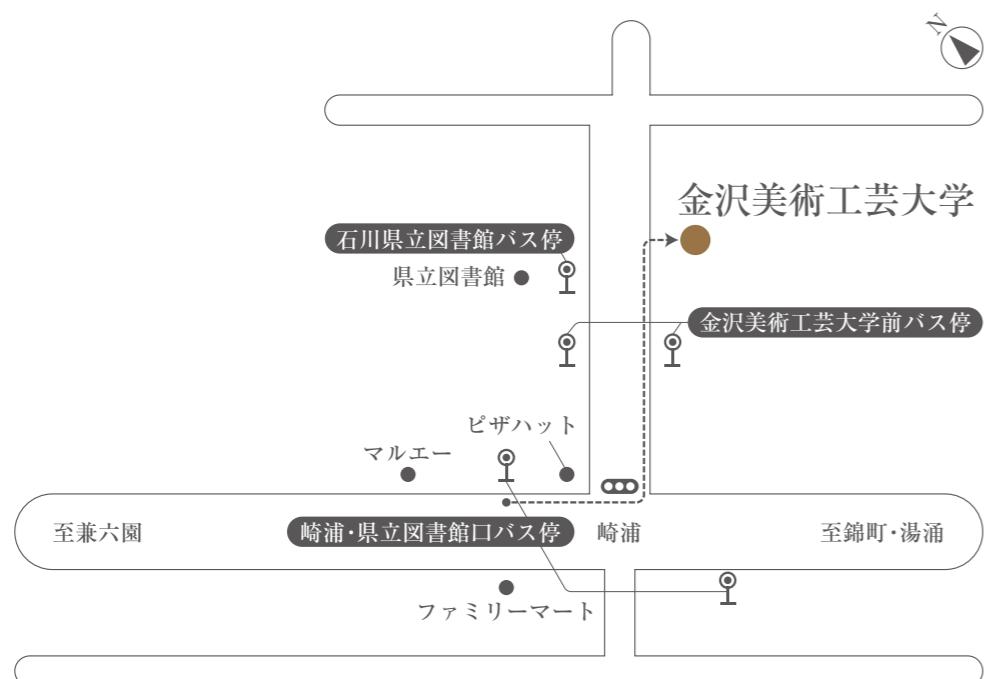
前伊知郎 (プラスファクトリー)  
又野健太郎 (プロデューサー)  
神子澤知弓 (神子澤知弓デザイン事務所)  
三澤直加 (グラグラッド)  
水口克夫 (Hotchkiss)  
三觜翼 (プロダクトデザイナー)  
三村起一 (地球環境戦略研究機関)  
山口省一 (mycolorsp)  
山本周 (山本周建築設計事務所)  
足立真実 (織)  
吉川豪 (パナソニック)  
吉川義盛 (京都精華大学)  
吉村寿博 (吉村寿博建築設計事務所)  
米村浩 (BrightSideLLC / 博報堂)  
賴安ブルノ礼市 (建築設計施工)  
〔一般教育等〕  
足立真実 (織)  
吉川豪 (パナソニック)  
吉川義盛 (京都精華大学)  
吉村寿博 (吉村寿博建築設計事務所)  
米村浩 (BrightSideLLC / 博報堂)  
賴安ブルノ礼市 (建築設計施工)  
〔教授〕  
青柳りさ (仏説・仏文化)  
高橋明彦 (日本文学)  
桑村佐和子 (教育学)  
青木千絵 (漆造形)  
水代達史 (彫金)  
〔講師〕  
河崎圭吾 (家電デザイン)  
安島諭 (公共用品デザイン)  
入矢真一 (UI-UXデザイン)  
根来貴成 (家具・インテリア製品デザイン)  
〔陶磁〕  
手島敦 (陶磁・釉薬)  
竹内智恵 (陶磁・染付)  
中田雅巳 (陶磁・ロクロ)  
田聰美 (ガラス)  
牟田陽日 (陶磁・上絵)  
角目里美 (陶磁・上絵)  
〔漆工〕  
石井うさぎ (ExecutiveCreativeDirector)  
稲垣揚平 (エイジデザイン)  
上町達也 (雪花)  
片山恵介 (ズキン)  
辛島隆 (オカムラ)  
小倉ひろみ (スタジオビーバ)  
熊崎純一 (NEC)  
秋田純一 (金沢大学)  
石井うさぎ (ExecutiveCreativeDirector)  
稲垣揚平 (エイジデザイン)  
上町達也 (雪花)  
片山恵介 (ズキン)  
辛島隆 (オカムラ)  
小倉ひろみ (スタジオビーバ)  
熊崎純一 (NEC)  
越野亮 (石川工業高等専門学校)  
佐藤和子 (デザイン・ジャーナリスト)  
高橋英行 (テクノロジー・ジョイント)  
館田千里 (オータニアートスクール)  
田淵寛之 (ICOMAinc.)  
都筑亮志 (ミュージー)  
長田典子 (関西学院大学)  
林信之 (ITジャーナリスト)  
日高一樹 (日高国際特許事務所)  
福定良佑 (FUKUSADASTUDIO)  
藤田光一 (柳工業デザイン研究会)  
益田文和 (オープンハウス)  
三澤直加 (グラグラッド)  
水口克夫 (Hotchkiss)  
山田和紀 (山田デザイン)  
米村浩 (BrightSideLLC / 博報堂)  
渡邊恵太 (明治大学)

弘田朋実 (織物)  
岩井美佳 (デジタルファブリケーション)  
〔共通〕  
奈良宗久 (茶道)  
金谷勉 (クリエイティブディレクション)  
金堂佳永子 (就職面接マナー演習)  
平野尊治 (デジタルファブリケーション)  
〔教授〕  
青柳りさ (仏説・仏文化)  
高橋明彦 (日本文学)  
桑村佐和子 (教育学)  
青木千絵 (漆造形)  
水代達史 (彫金)  
〔講師〕  
河崎圭吾 (家電デザイン)  
安島諭 (公共用品デザイン)  
入矢真一 (UI-UXデザイン)  
根来貴成 (家具・インテリア製品デザイン)  
〔陶磁〕  
手島敦 (陶磁・釉薬)  
竹内智恵 (陶磁・染付)  
中田雅巳 (陶磁・ロクロ)  
田聰美 (ガラス)  
牟田陽日 (陶磁・上絵)  
角目里美 (陶磁・上絵)  
〔漆工〕  
石井うさぎ (ExecutiveCreativeDirector)  
稲垣揚平 (エイジデザイン)  
上町達也 (雪花)  
片山恵介 (ズキン)  
辛島隆 (オカムラ)  
小倉ひろみ (スタジオビーバ)  
熊崎純一 (NEC)  
越野亮 (石川工業高等専門学校)  
佐藤和子 (デザイン・ジャーナリスト)  
高橋英行 (テクノロジー・ジョイント)  
館田千里 (オータニアートスクール)  
田淵寛之 (ICOMAinc.)  
都筑亮志 (ミュージー)  
長田典子 (関西学院大学)  
林信之 (ITジャーナリスト)  
日高一樹 (日高国際特許事務所)  
福定良佑 (FUKUSADASTUDIO)  
藤田光一 (柳工業デザイン研究会)  
益田文和 (オープンハウス)  
三澤直加 (グラグラッド)  
水口克夫 (Hotchkiss)  
山田和紀 (山田デザイン)  
米村浩 (BrightSideLLC / 博報堂)  
渡邊恵太 (明治大学)

## 基礎科目

〔非常勤講師〕  
宮原康展 (映像メディア・コンピュータグラフィックス)  
庄司メアリ拓郎 (コンピュータグラフィックス)  
青木芳昭 (日本美術史II)  
蘇哲 (東洋美術史I、II、専門語学 (中国語))  
古川萌 (西洋美術史I)  
木田拓也 (工芸史I)  
山本浩貴 (近代美術史、美学)  
モンデンエミコ (彫刻I)  
林一平 (彫刻II)  
神谷佳男 (版画、絵画II / 版画)  
尾崎紀之 (美術解剖学)  
上田恒夫 (美術工芸特論、専門語学 (イタリア語))  
ブランドウインフィールド (専門英語演習)  
坂本希和子 (色彩論)  
前川満良 (色彩論)  
今中博之 (色彩論)  
青山征彦 (デザイン心理学)  
坂本英之 (建築論)  
金保洋 (国学)  
末松智 (国学)  
北谷至啓 (絵画III / フレスコ)  
渡部匡人 (工芸II / ガラス)  
藤野征一郎 (工芸III / 木工)  
田聰美 (工芸II / ガラス)  
渡辺明敏 (専門語学 (英語))  
木村恵一 (専門語学 (フランス語))  
保井亜弓 (専門語学 (ドイツ語))  
〔大学院修士課程 映像コース〕  
〔非常勤講師〕  
石田尚志 (多摩美術大学)  
井口奈己 (映画監督)  
菊谷達史 (美術作家)  
キヤマミズキ (アニメーション作家)  
口出洋徳 (コトジット)  
黒坂圭太 (武蔵野美術大学)  
田所淳 (前橋工科大学)  
土肥悦子 (こども映画教室⑧)  
永田康祐 (美術作家)  
仲本拡史 (映像作家)  
名和田克典 (イラストレーター)  
氷川竜介 (アニメ・特撮研究家)  
Blackmagic Design  
前川裕介 (映像・写真カメラマン)  
宮崎昭秀 (クリエイティブディレクター)  
宮原康展 (映像ディレクター)  
森岡東洋志 (ベースドラム)  
安原広和 (東京工科大学)

## アクセス



## 大学への交通

電車： 金沢駅下車

バス： 金沢駅東口（兼六園口）バスターミナル 6番のりば （乗車約30分）

⑪ 石川県立図書館ゆき

「金沢美術工芸大学前」バス停で下車

「崎浦・県立図書館口」バス停もあわせてご利用ください（美大まで徒歩約3分）

金沢駅東口（兼六園口）バスターミナル 6番のりば （乗車約20～25分）

⑪ 金沢学院大学ゆき／東部車庫ゆき／辰巳丘高校ゆき

⑫ 湯涌温泉ゆき／北陸大学太陽が丘ゆき／北陸大学薬学部ゆき

⑯ 上辰巳ゆき

金沢駅西口（金沢港口）バスターミナル 5番のりば （乗車約25分）

⑩ 東部車庫ゆき／金沢学院大学ゆき

タクシー： 金沢駅 から 約20分

自動車： 北陸自動車道 金沢森本IC から 約15分

金沢西IC から 約25分

航空機： 小松空港 から リムジンバス （乗車約40分）

金沢駅下車（乗り換え、東口、西口 から 電車の場合に同じ）